

アルミ軽量ひさし RS バイザー

RS-K2型 施工要領書

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



出幅 1500mm 以下
ステーなし



出幅 1500mm 超え
ステー付き

— 目 次 —

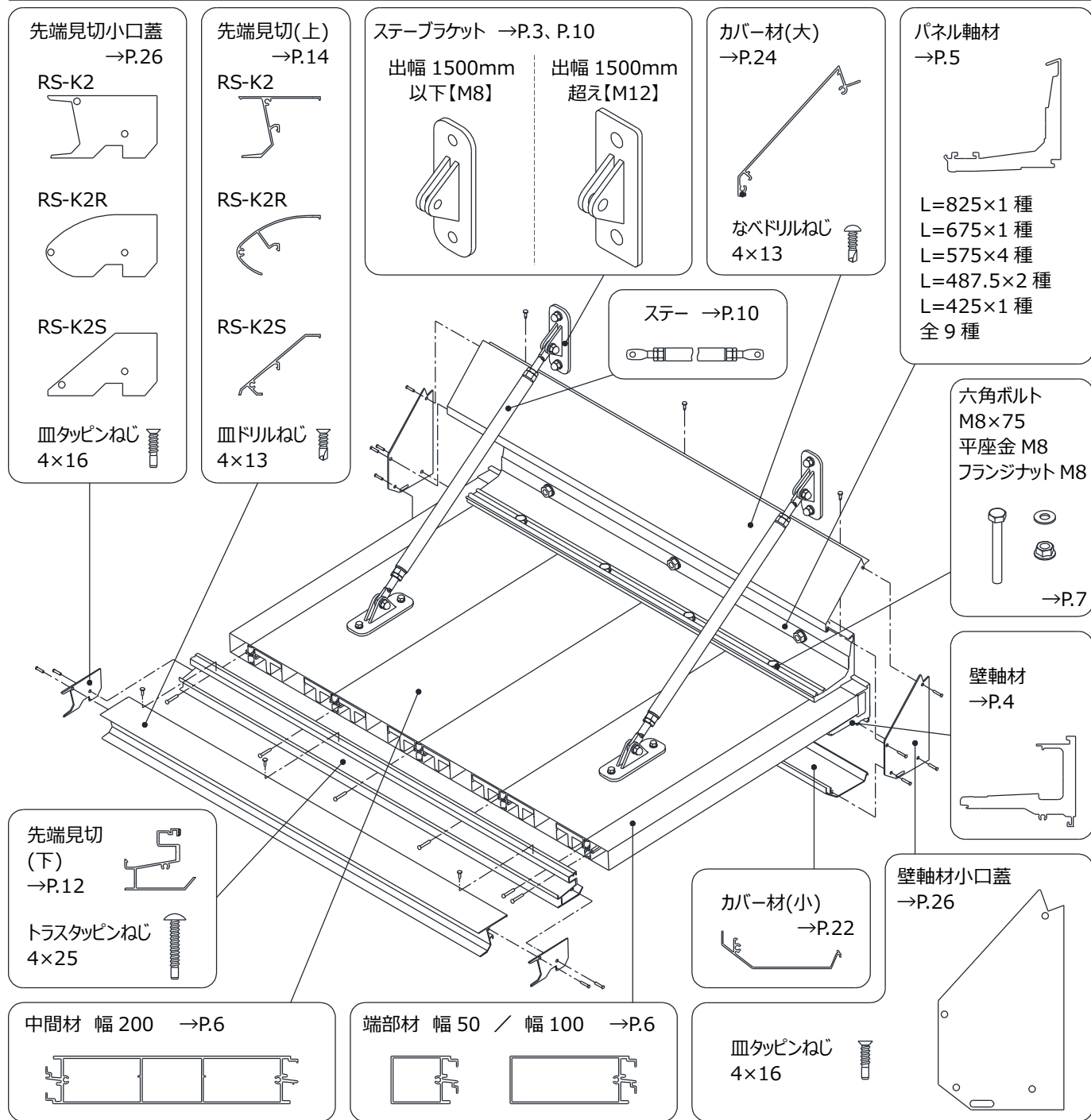
施工上の注意点	1
部材名称	2
施工手順	3～27
【オプション】LED照明	28～31
施工確認チェックシート	32

施工上の注意点

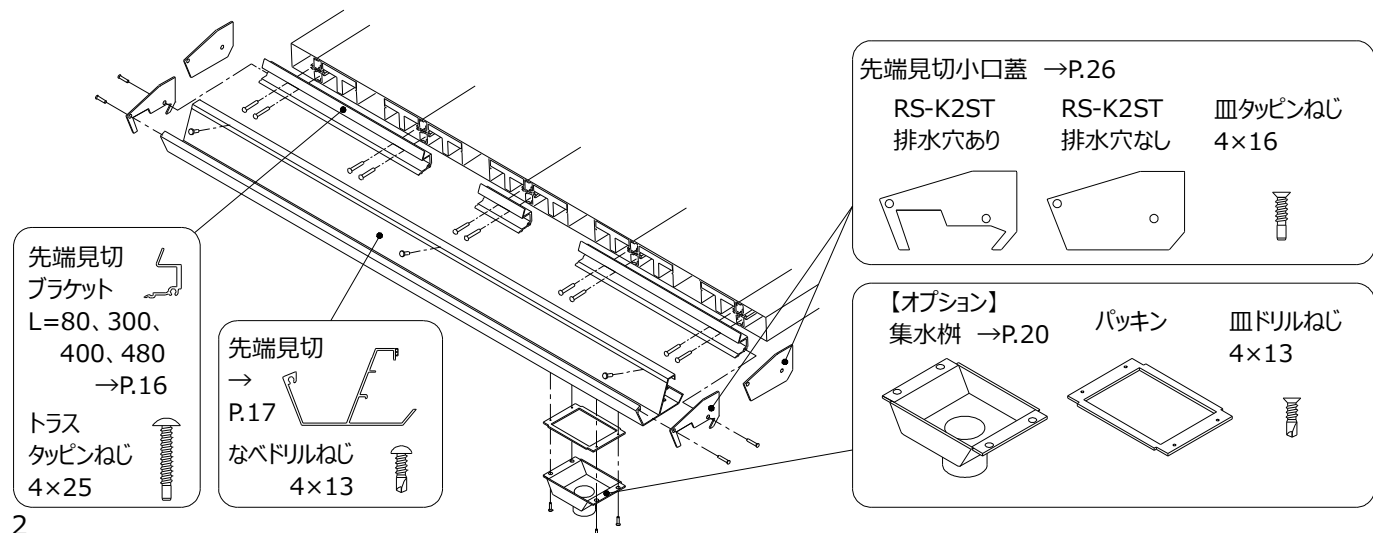
- ☐ 転落や破損の恐れがありますので、底に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ☐ ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- ☐ 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- ☐ 底の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- ☐ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等は行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称 RS-K2/K2R/K2S 先端樋なし



■ 部材名称 RS-K2ST 先端樋つき



■ 施工手順

1. 墨出しをする

アンカープランに従い、墨出しを行ってください。

2. 壁軸材、ステーブラケットの取付ボルトを準備する

壁軸材	ステーブラケット（ステー付きのみ）	
	出幅D 1500mm 以下	出幅D 1500mm 超え
● ボルト出し長さは 25mm です。 別途工事 25 アンカー埋込深さ	● ボルト出し長さは 15mm です。 別途工事 15 アンカー埋込深さ	● ボルト出し長さは 20mm です。 別途工事 20 アンカー埋込深さ
準備するもの ● 取付ボルト M10（別途）	準備するもの ● 取付ボルト M8（別途）	準備するもの ● 取付ボルト M12（別途）

⚠ 注 意

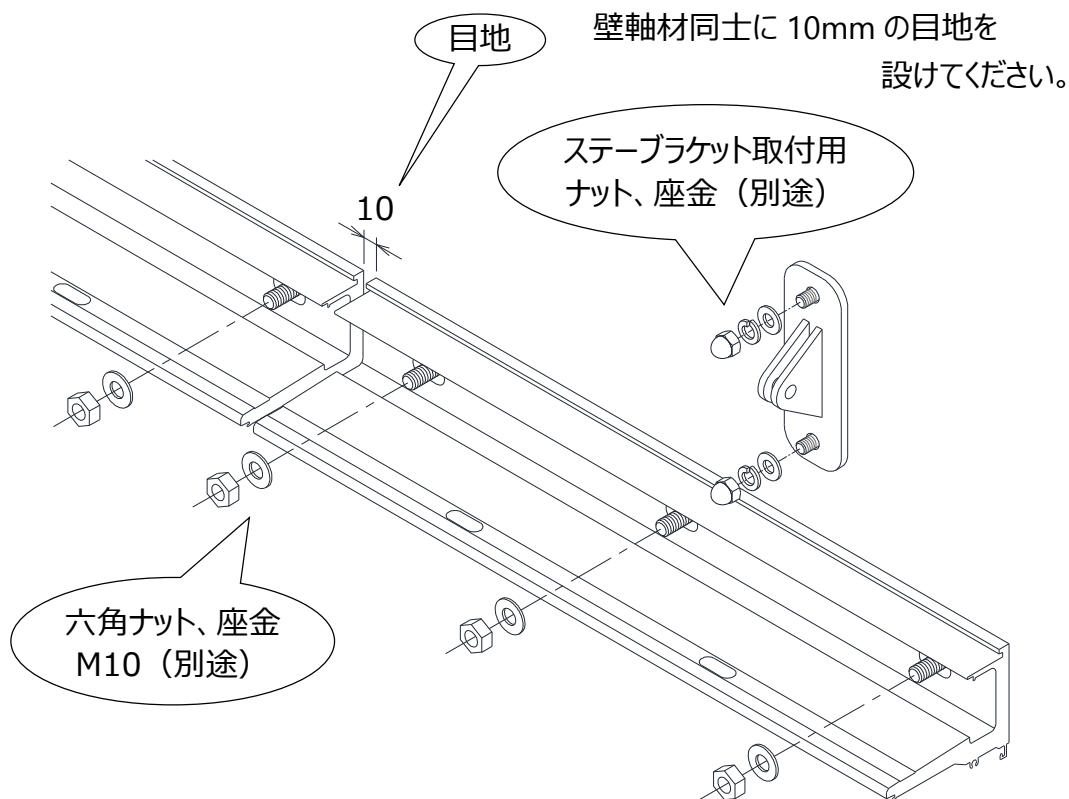
- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。
- ☑ 躯体によりアンカーピッチを変更する場合は、壁軸材に新設穴をあけて取付けてください。アンカー数は減らさないでください。

3. 壁軸材、ステーブラケットを取付ける

⚠ 壁面の出入りを調整し、壁軸材とステーブラケットを取付けてください。

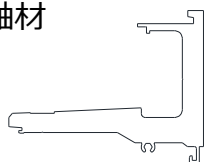
取付ボルトを本締めします。

壁軸材を 2 本以上取付ける場合



準備するもの

- 壁軸材

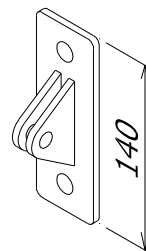
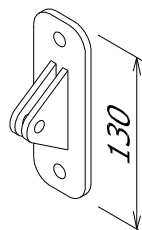


- 六角ナット M10 (別途)
- 座金 M10 (別途)

- ステーブラケット

出幅 1500mm 以下
→ M8

出幅 1500mm 超え
→ M12



- ステーブラケット取付用ナット、座金 (別途)

⚠ 注意

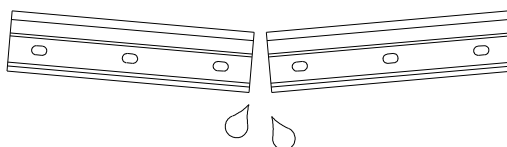
壁軸材を 2 本以上取付ける場合、目地部が谷にならないようにしてください。



水平／八の字

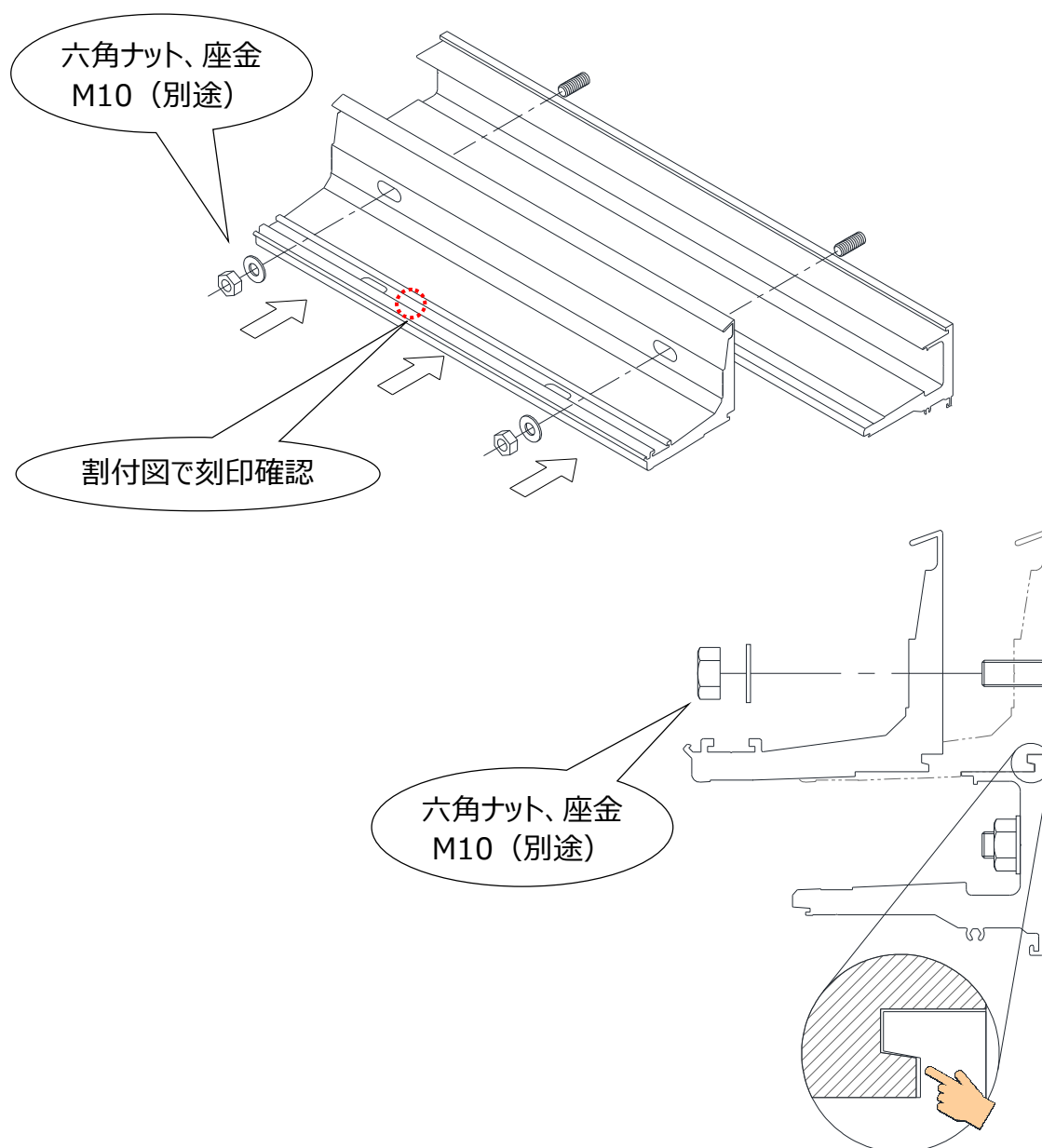


V 字



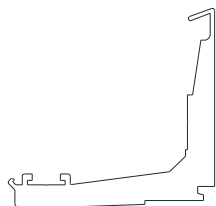
4. パネル軸材を取付ける

パネル軸材と壁軸材凹凸部を合わせて取付け、取付ボルトを本締めします。



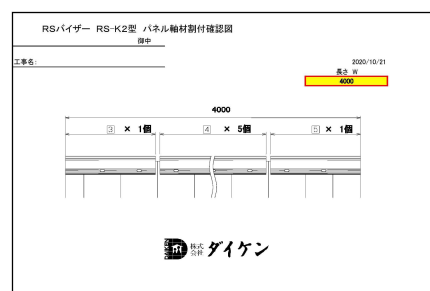
準備するもの

- パネル軸材



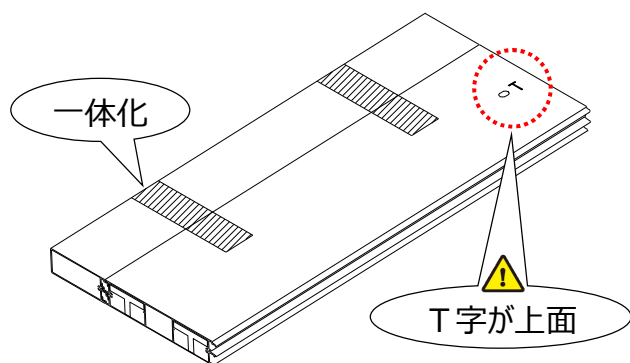
- 六角ナット、座金 M10 (別途)

- パネル軸材割付確認図 (A4 サイズ)



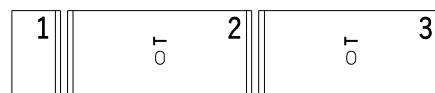
5. 中間材・端部材を取付ける

〈 準備 〉 中間材と端部材を養生テープ等で一体化します（仮止め）。

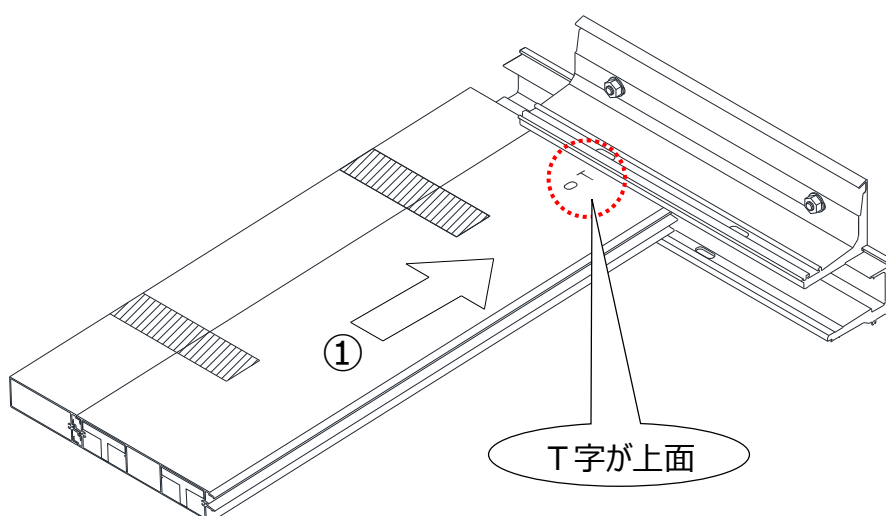


⚠ ステンカラー色の場合

取付けの順番は、左から 1.2.3...



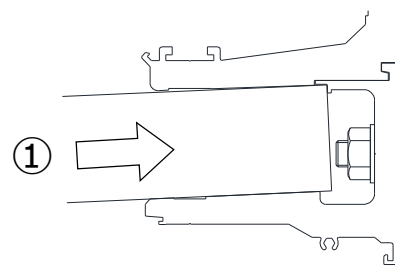
① 中間材と端部材を壁軸材の突起に当たるまで奥まで差し込みます。



⚠ 注 意

中間材には上下があります。取付穴横に「**T**」の刻印がある面を上面になるように取付けてください。

上下逆に取付けると水漏れの原因となります。



準備するもの

● 中間材 200



● 端部材 50

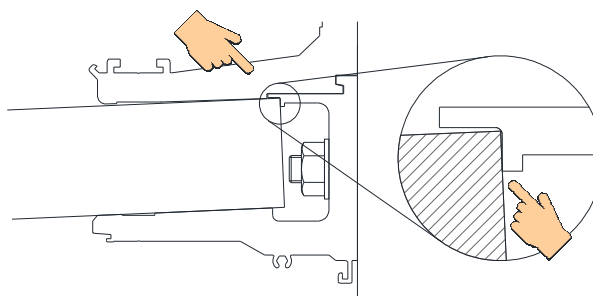


または 100



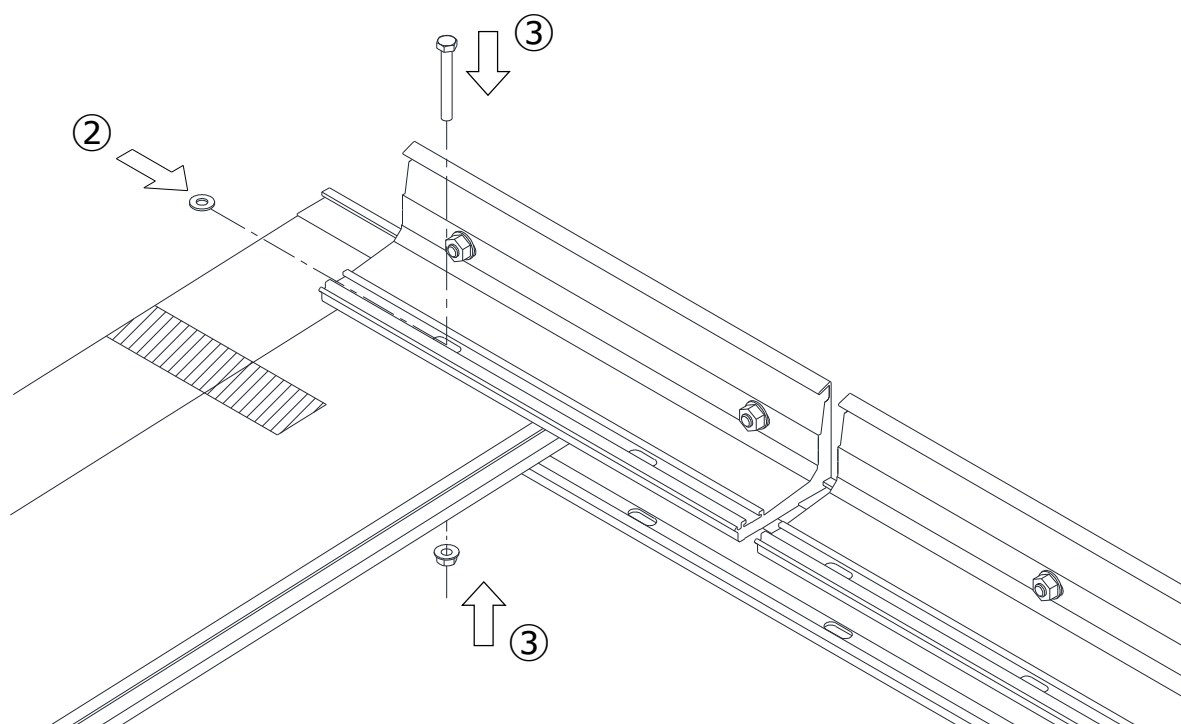
⚠ 注 意

中間材と端部材が壁軸材の突起に当たっていることを確認してください。



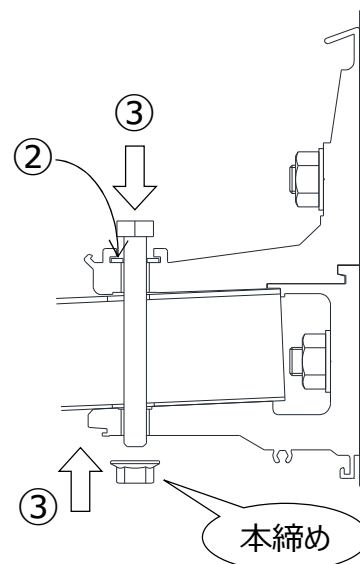
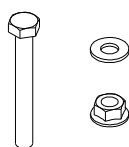
② パネル軸材の溝に平座金を差し込み

③ 六角ボルト、フランジナットで取付けます。



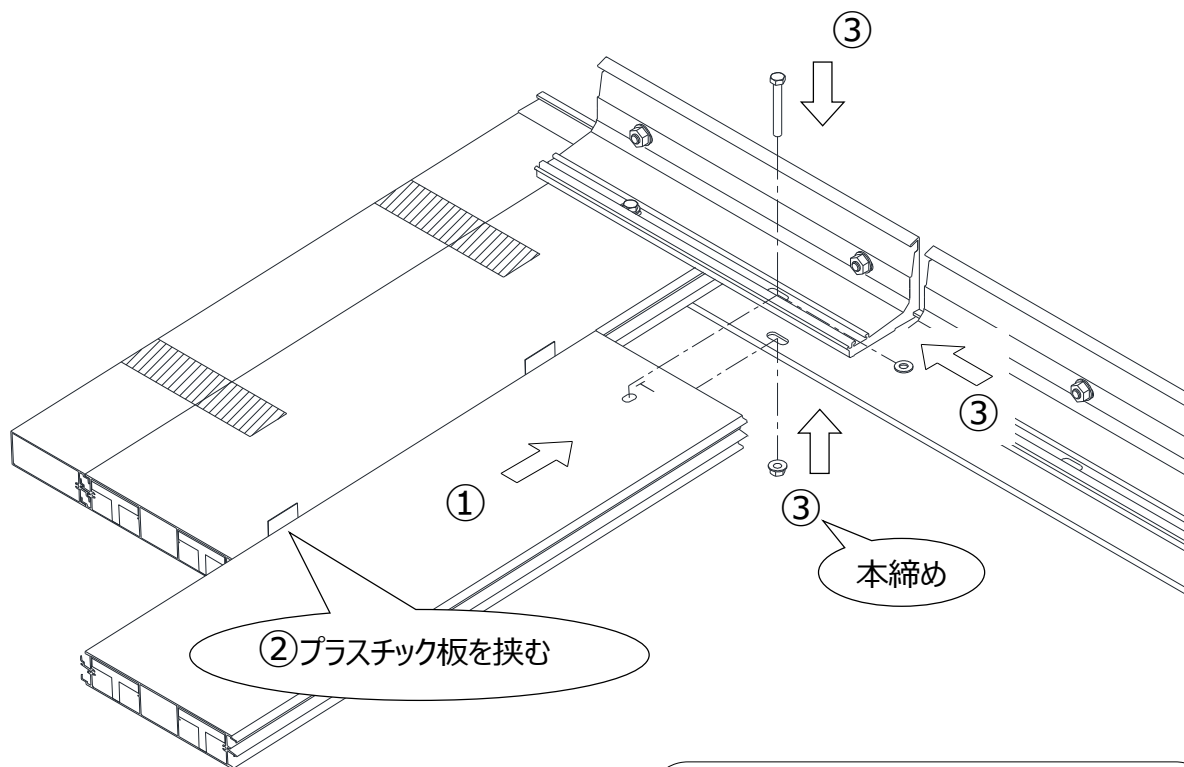
準備するもの

- 六角ボルト M8×75
- 平座金 M8
- フランジナット M8



6. 2 本目以降の中間材・端部材を取付ける

- ① P 6 の手順で中間材を壁軸材に差し込みます。
- ② 中間材同士の目地にプラスチック板をはさみ、0.5mm の目地を設けます。
(※) 中間材締結後に取り外して再利用してください。
- ③ パネル軸材の溝に平座金を差し込み、ボルトナットで締結します。

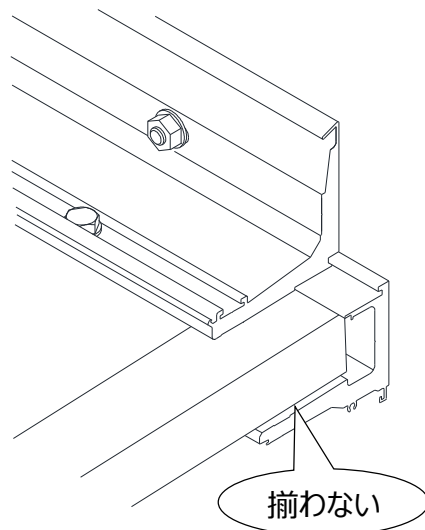


準備するもの

- 中間材 200 
- 端部材 50  または 100 
- プラスチック板 t0.5 
- 六角ボルト M8×75 
- 平座金 M8 
- フランジナット M8 

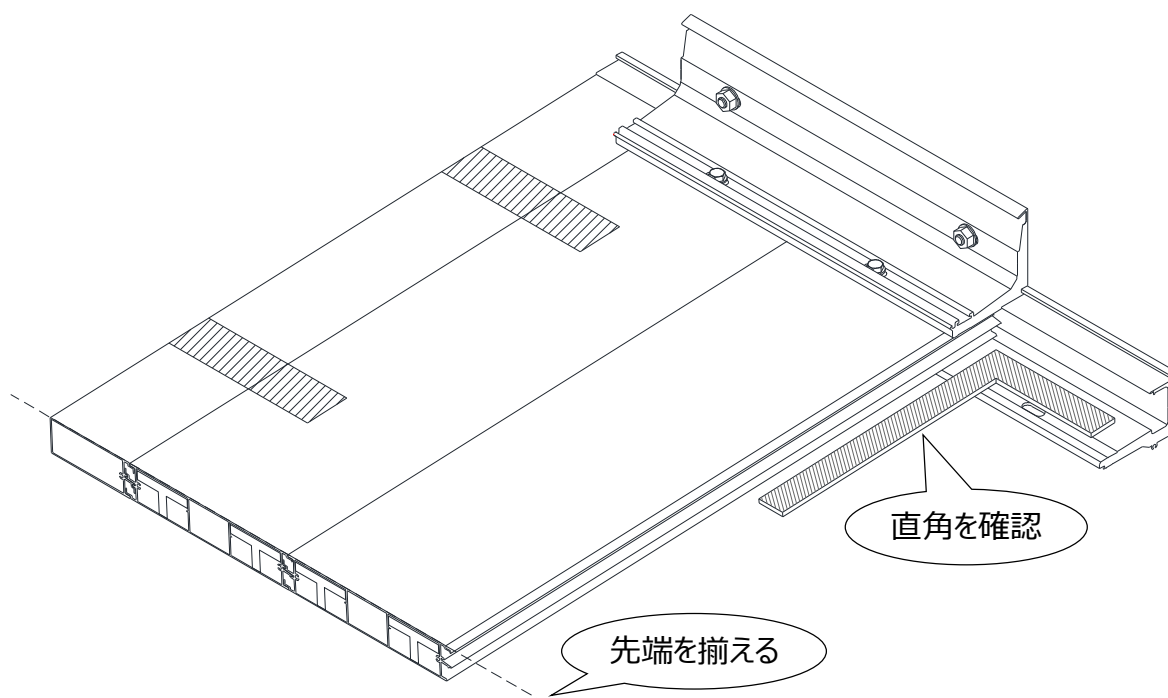
⚠ 注意

既定の目地を設けないと、端部材と壁軸材との面が揃わない場合があります。



揃わない場合は、小口蓋を取付けた後、隙間に防水シールを施してください。

- ※ 中間材は、壁軸材と直角（90°）で取付けられていることを確認しながら取付けてください。
- ※ 中間材は、先端側が揃っていることを確認しながら取付けてください。



⚠ 注意

中間材を奥まで差し込んでいなかったり、壁軸材と直角に取付けられていないと、先端側が揃わなくなる場合があります。

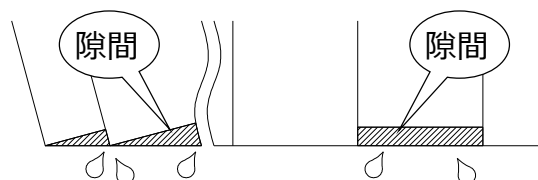
先端見切取付時に中間材との間に隙間が出来ると水漏れの原因となりますので、直角と先端が揃っていることを確認しながら取付けてください。



中間材の先端を揃える

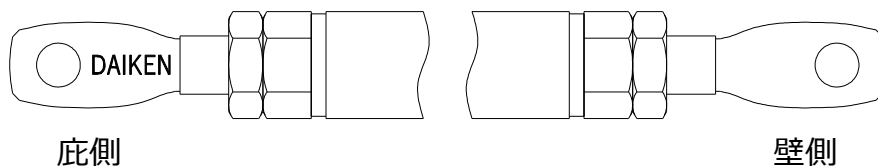


直角が出ていない
先端が揃っていない

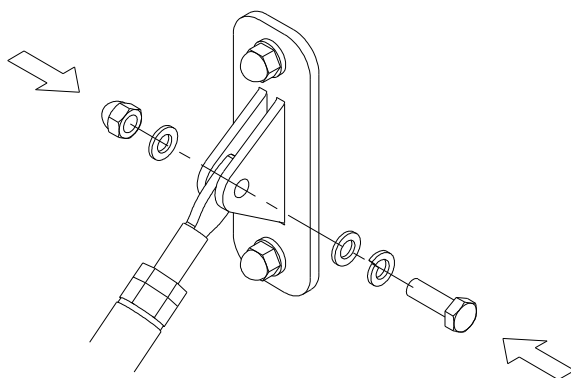


7. ステーを取付ける（ステー付きのみ）

ステーの標準の向きは、「DAIKEN」刻印側が底側、刻印なし側が壁側です。

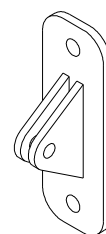


① 壁側のブラケットにステーを取付けます。



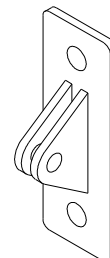
壁側のブラケット（標準）は
出幅により形状が異なります。

出幅 D
1500mm 以下



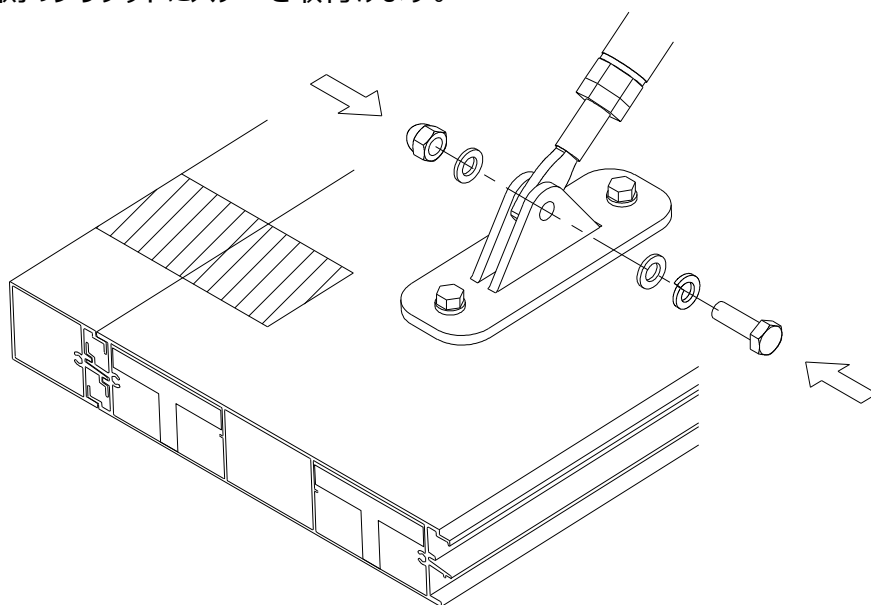
H130

出幅 D
1500mm 超え



H140

② 中間材側のブラケットにステーを取付けます。



準備するもの

● ステー



● 六角ボルト

● 平座金

● ばね座金

● 袋ナット



出幅 D
1500mm 以下

M8×25

M8

M8

M8

出幅 D
1500mm 超え

M10×30

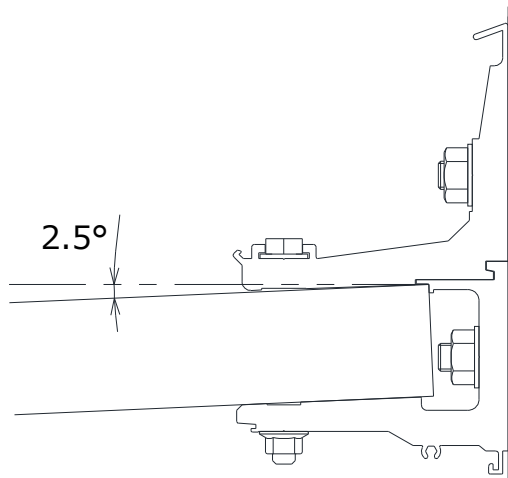
M10

M10

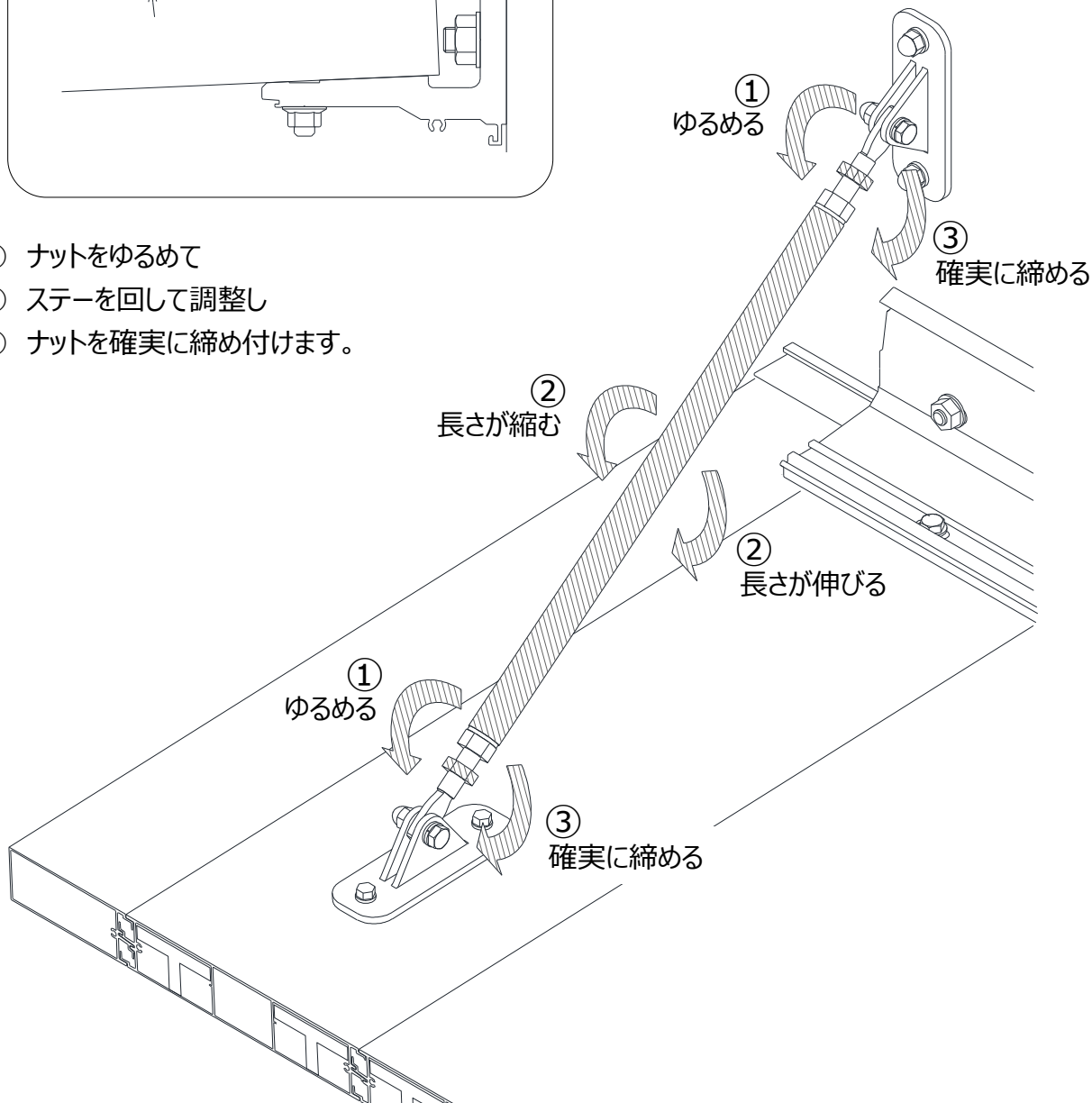
M10

⚠ 底の先端のレベルが出ていない時は、ステーの長さを調整してください。

標準の屋根勾配は 2.5° です。



- ① ナットをゆるめて
- ② ステーを回して調整し
- ③ ナットを確実に締め付けます。



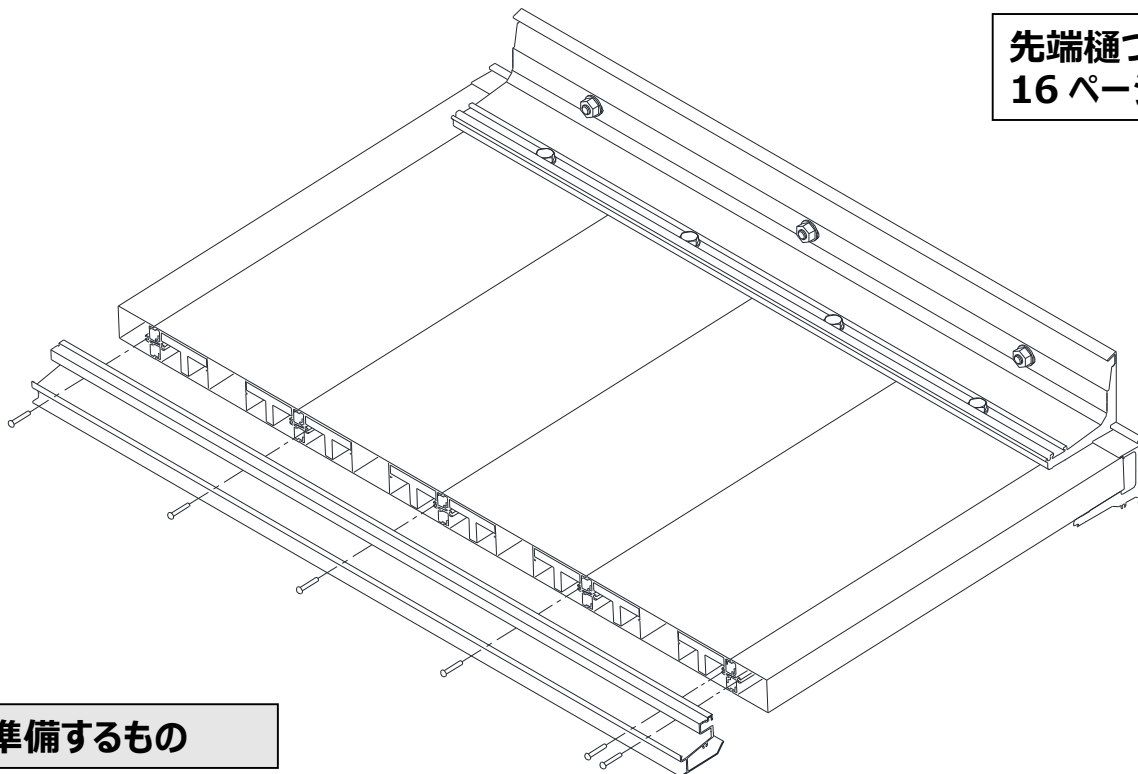
⚠ 注意

P 1 0 の手順でステーの向きを逆（DAIKEN 刻印側を壁側）につけていると「ゆるめる・締める」、「長さが伸びる・縮む」の回転方向が逆になります。

8. 先端見切（下）を取付ける（先端樋なし）

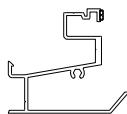
中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切（下）をトラスタッピンねじで取付けます。

先端樋つきは
16 ページへ⇒



準備するもの

● 先端見切（下）

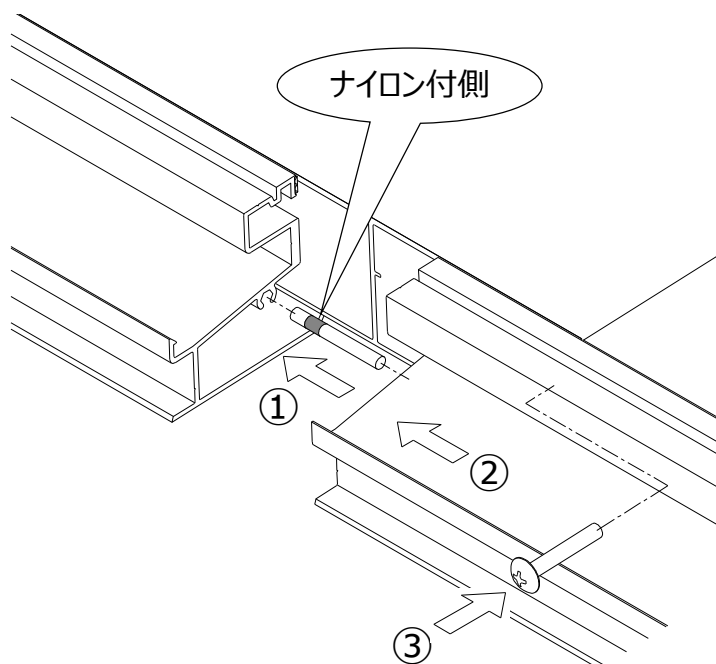


● トラスタッピンねじ 4×25

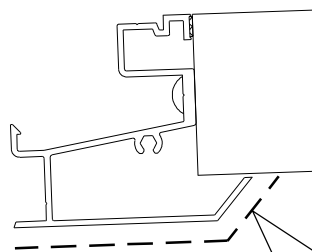
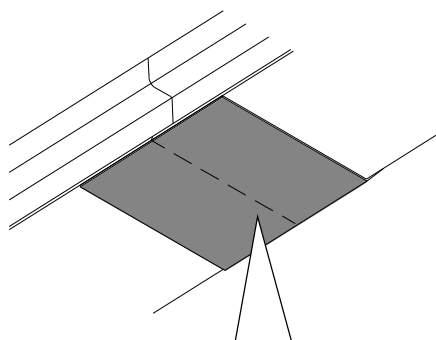


先端見切（下）を2本以上取付ける場合

- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ トラスタッピンねじで取付けます。



- ④ ヘラ等を使用して、目地部に止水テープをシワやスキマの無いように圧着します。



止水テープ
貼付範囲

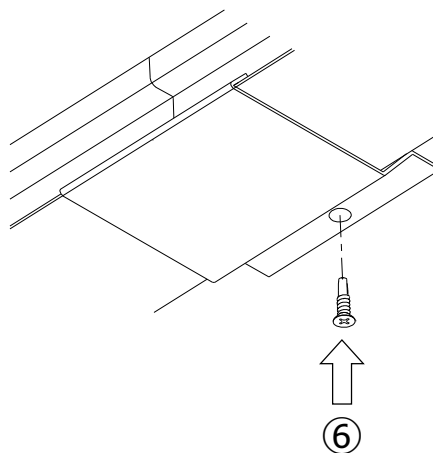
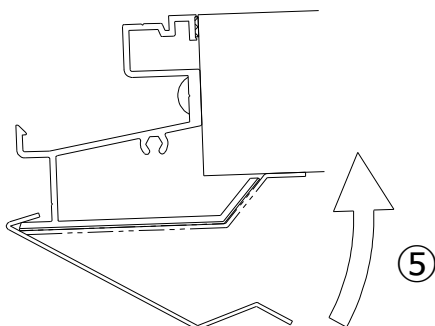
- 止水テープ貼付範囲の汚れや油分を確実に除去
(止水テープ貼付範囲より広い範囲)
- ヘラ等を使用し、シワやスキマの無いように圧着



注 意

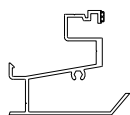
止水テープが確実に圧着できていないと、水漏れすることがあります。

- ⑤ カバー材を先端に引っかけて回転させ
⑥ 皿ドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切 (下)



- ジョイントピン



- ③ トラスタッピンねじ 4×25



- 止水テープ W=50



- ジョイント部カバー材
L=60

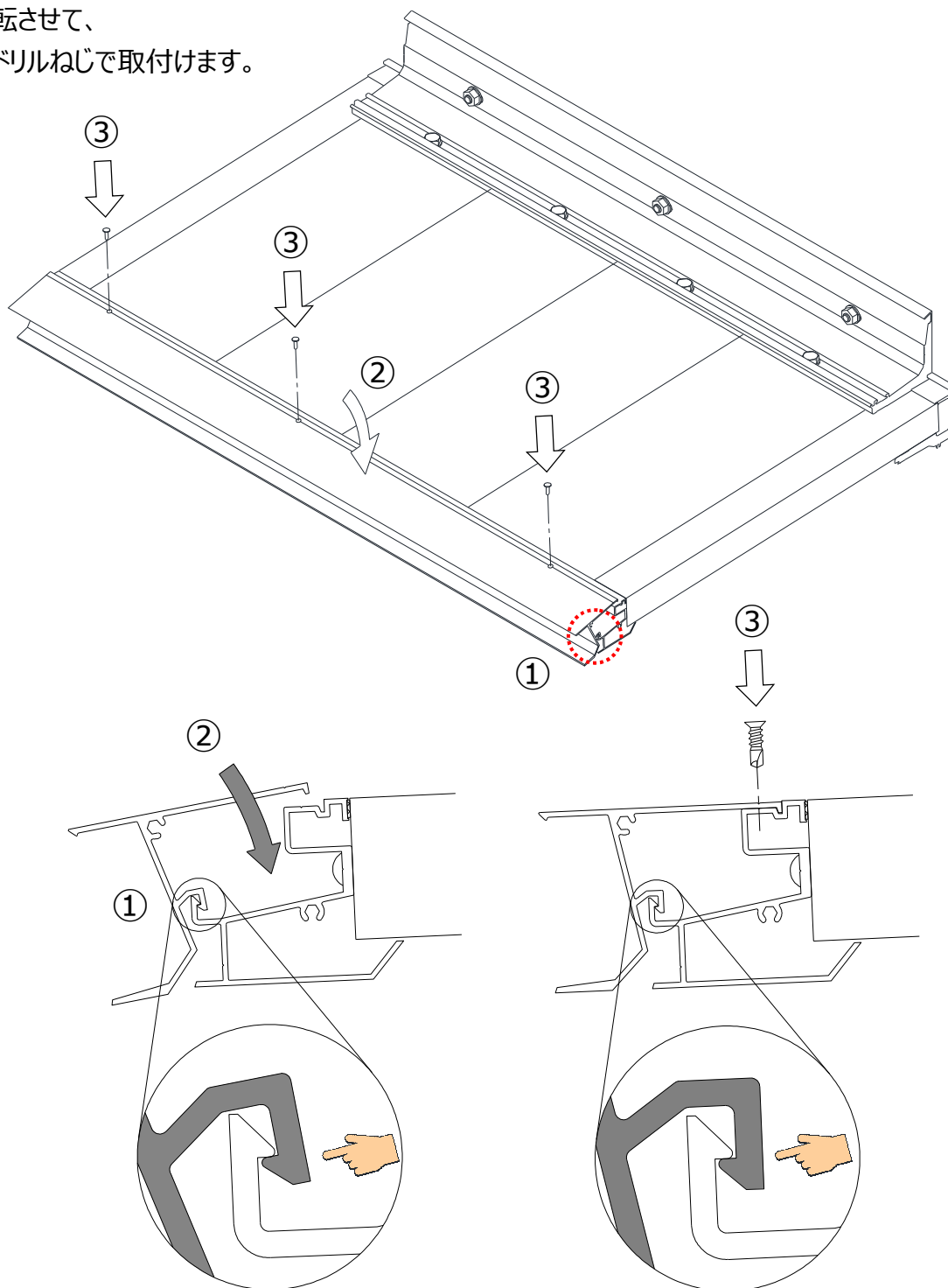


- ⑥ 皿ドリルねじ 4×13



9. 先端見切（上）を取付ける（先端樋なし）

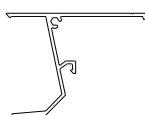
- ① 先端見切（上）を先端見切（下）に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切（上）

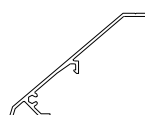
RS-K2



RS-K2R



RS-K2S

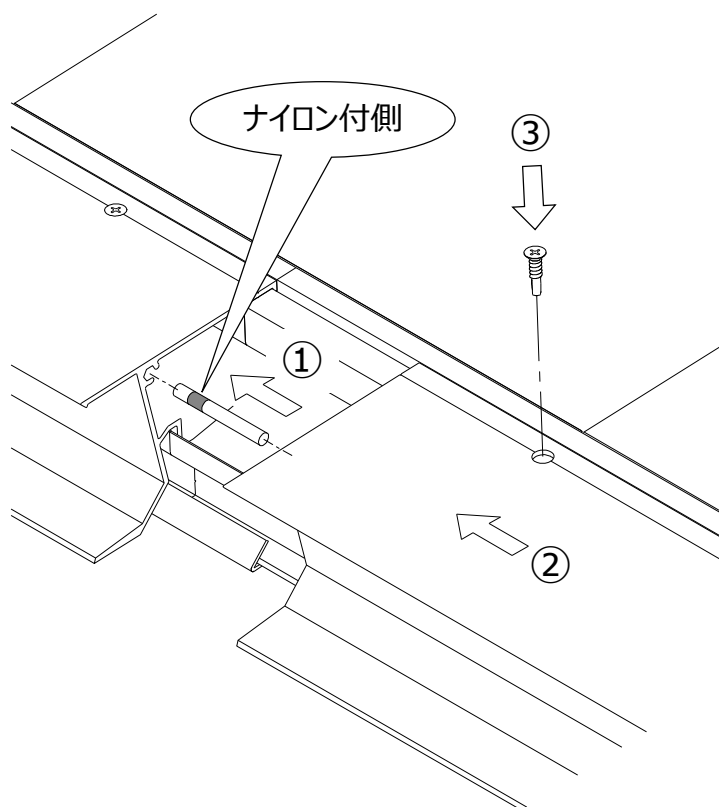


- 皿ドリルねじ 4×13



先端見切（上）を 2 本以上取付ける場合

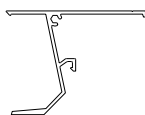
- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



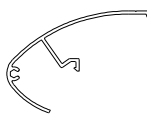
準備するもの

- 先端見切（上）

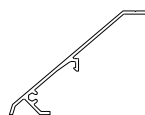
RS-K2



RS-K2R



RS-K2S



- ジョイントピン



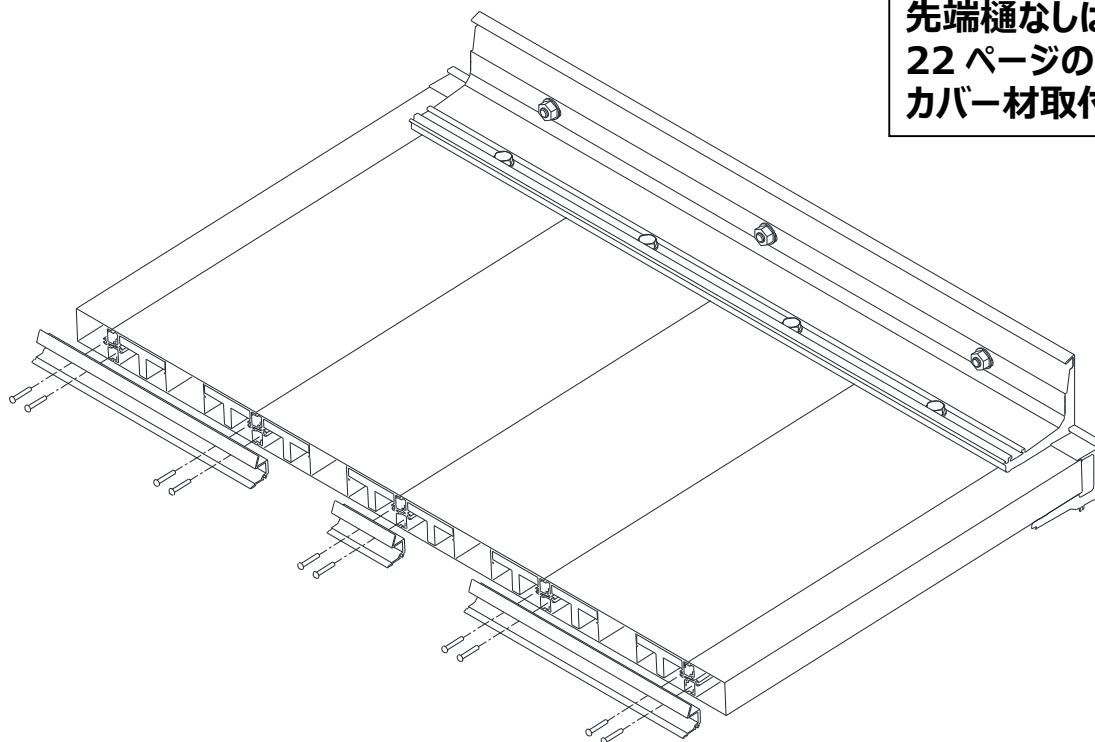
- 皿ドリルねじ 4×13



10. 先端見切 Bracket を取付ける (先端樋つき)

中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切 Bracket をトラスタッピンねじで取付けます。

先端樋なしは
22 ページの
カバー材取付けへ⇒



準備するもの

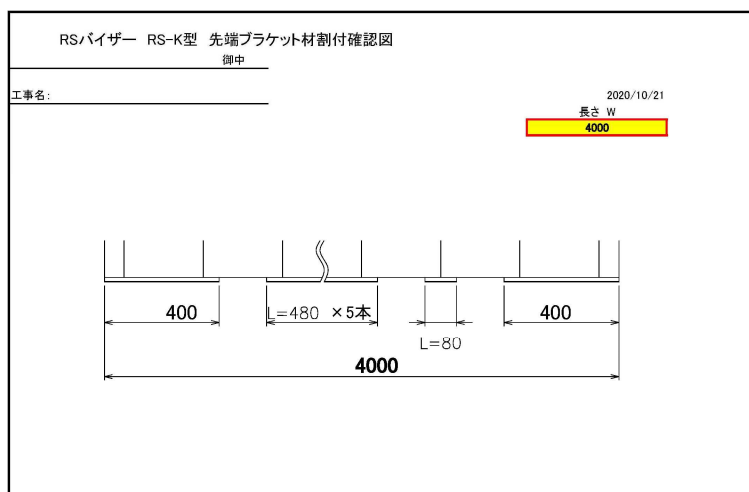
- 先端見切 Bracket
 - ・端部用
L=300 または 400
 - ・中間部用
L=480、80



- トラスタッピンねじ 4×25

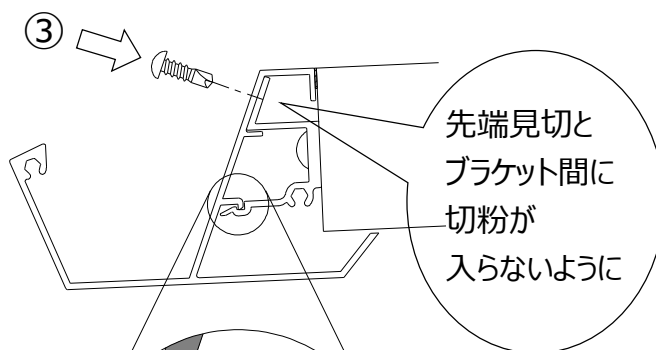
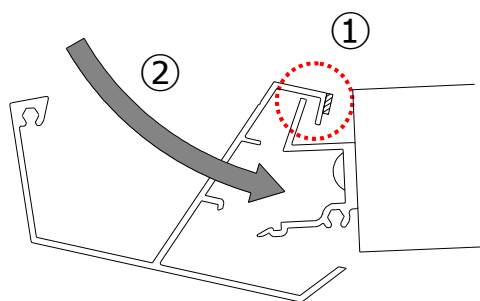
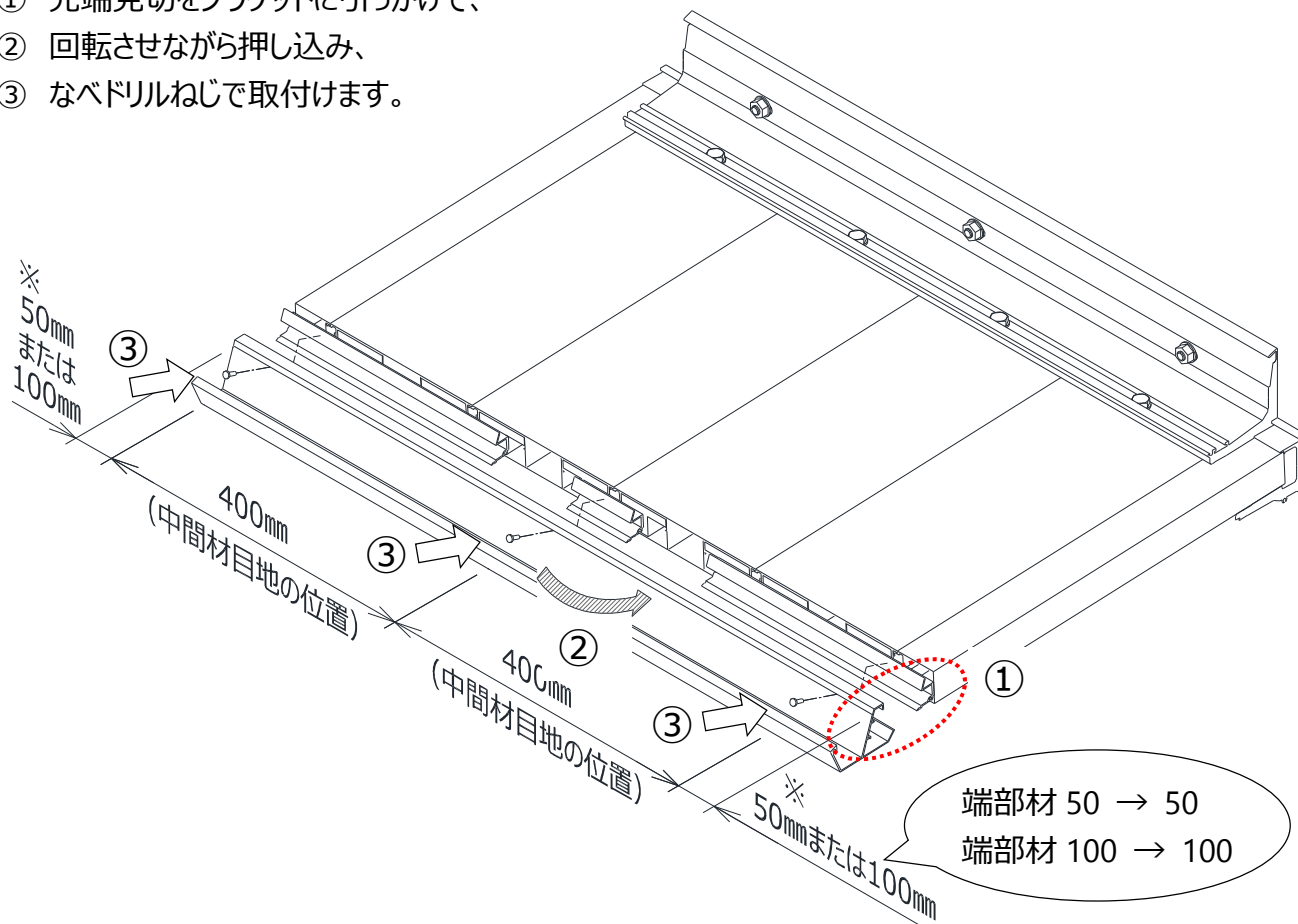


- 先端見切 Bracket
割付確認図
(A4 サイズ)



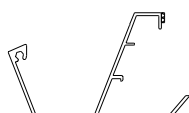
11. 先端見切を取付ける (先端樋つき)

- ① 先端見切をブラケットに引っかけて、
- ② 回転させながら押し込み、
- ③ なべドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切



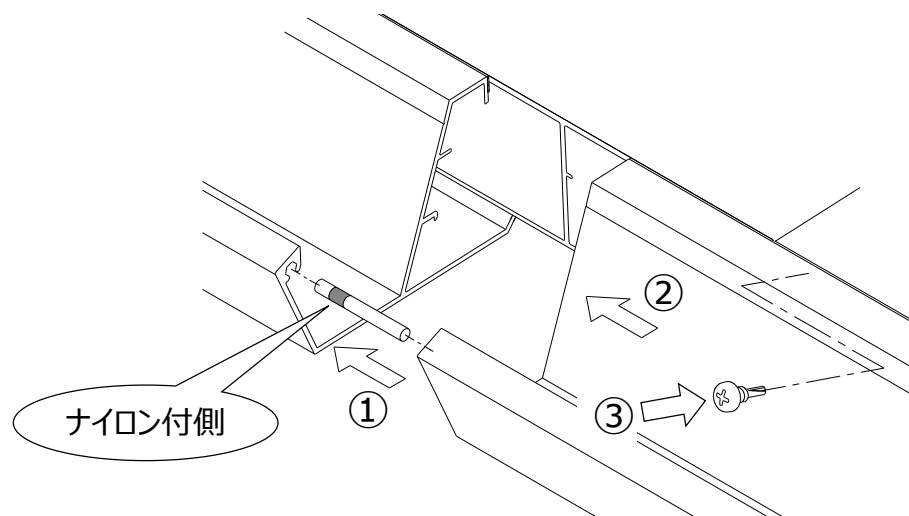
- なべドリルねじ 4×13



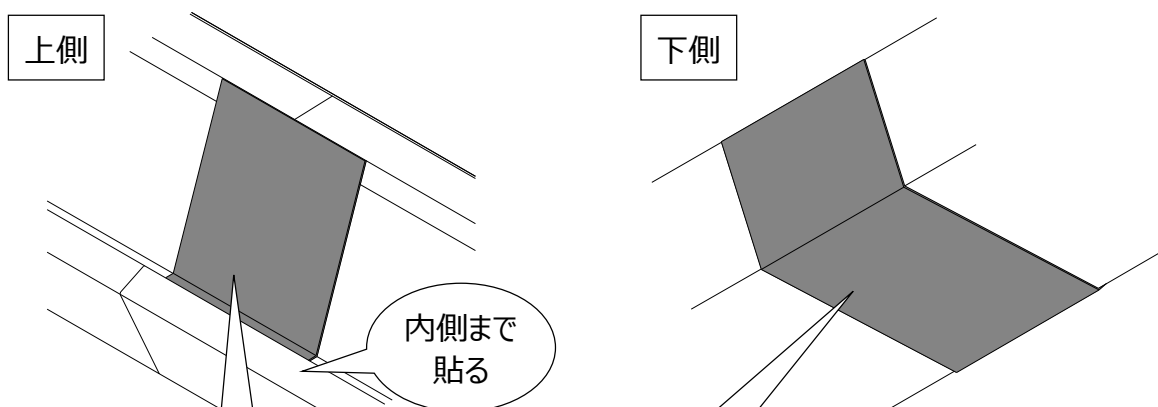
次ページへ続く⇒

先端見切を 2 本以上取付ける場合

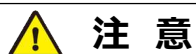
- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ ナベドリルねじで取付けます。



- ④ 目地部に止水テープを圧着します。（※）ヘラ等を使用して、シワやスキマの無いように

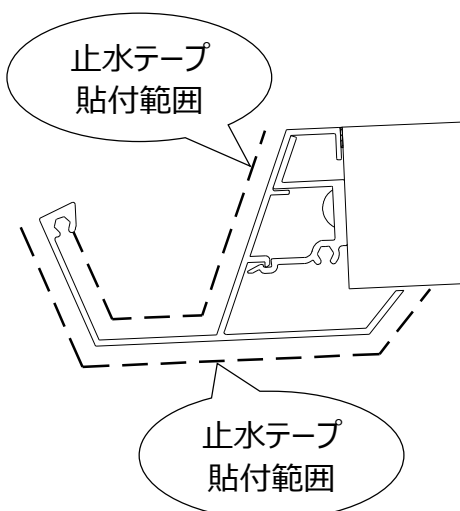


- 止水テープ貼付範囲の汚れや油分を確実に除去（止水テープ貼付範囲より広い範囲）
- ヘラ等を使用し、シワやスキマの無いように圧着

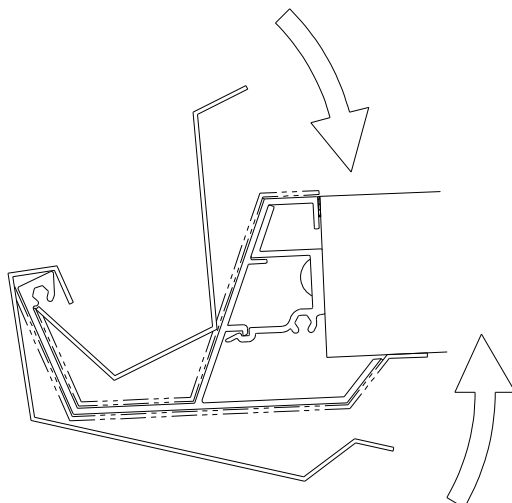


注 意

**止水テープが確実に圧着できていないと、
水漏れすることがあります。**

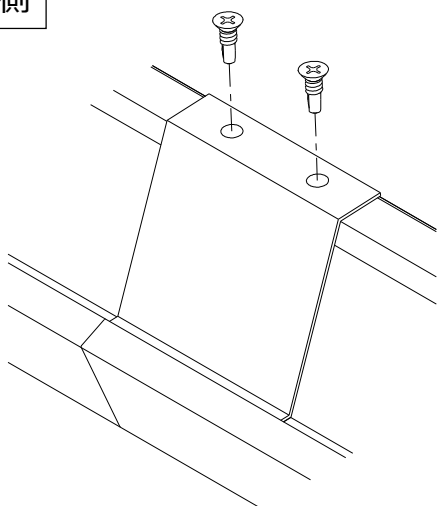


⑤ カバー材を先端側に引っかけて回転させます。

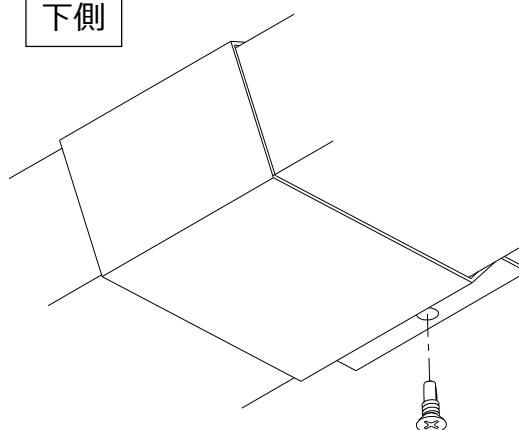


⑥ 皿ドリルねじで取付けます。

上側

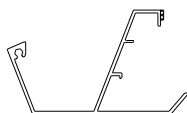


下側



準備するもの

● 先端見切



● ジョイントピン



● ③ なべドリルねじ 4×13



● ⑥ 皿ドリルねじ 4×13



● 止水テープ W=50



● ジョイント部カバー材（下）
L=60



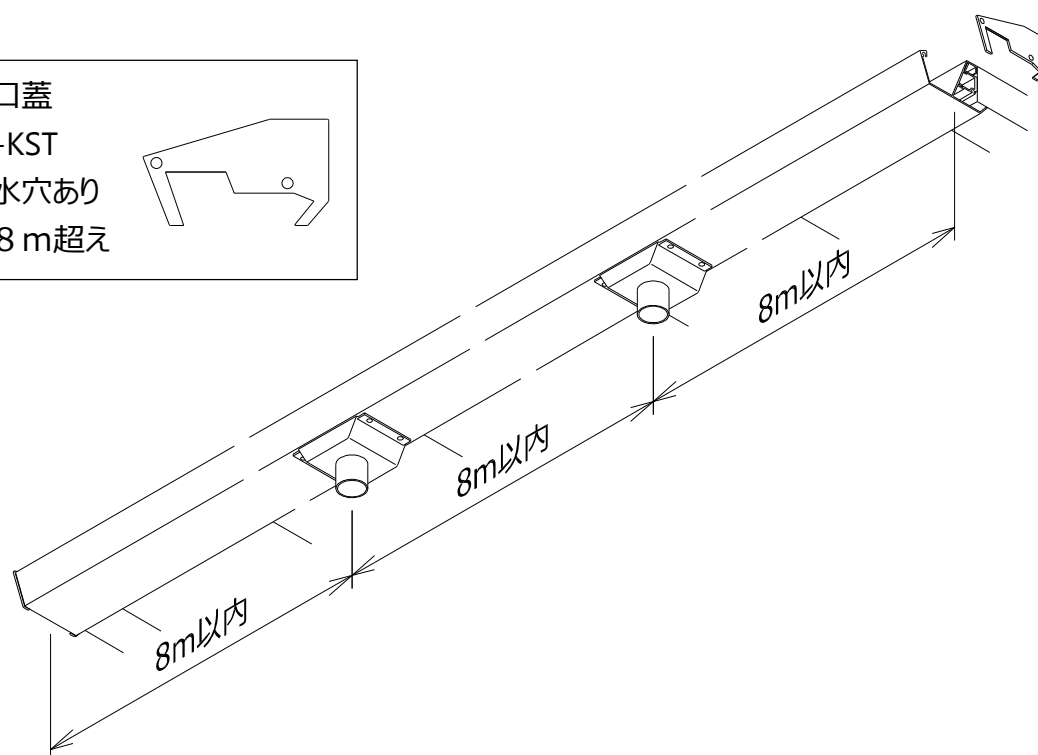
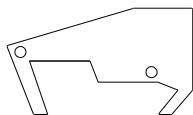
● ジョイント部カバー材（上）
L=60



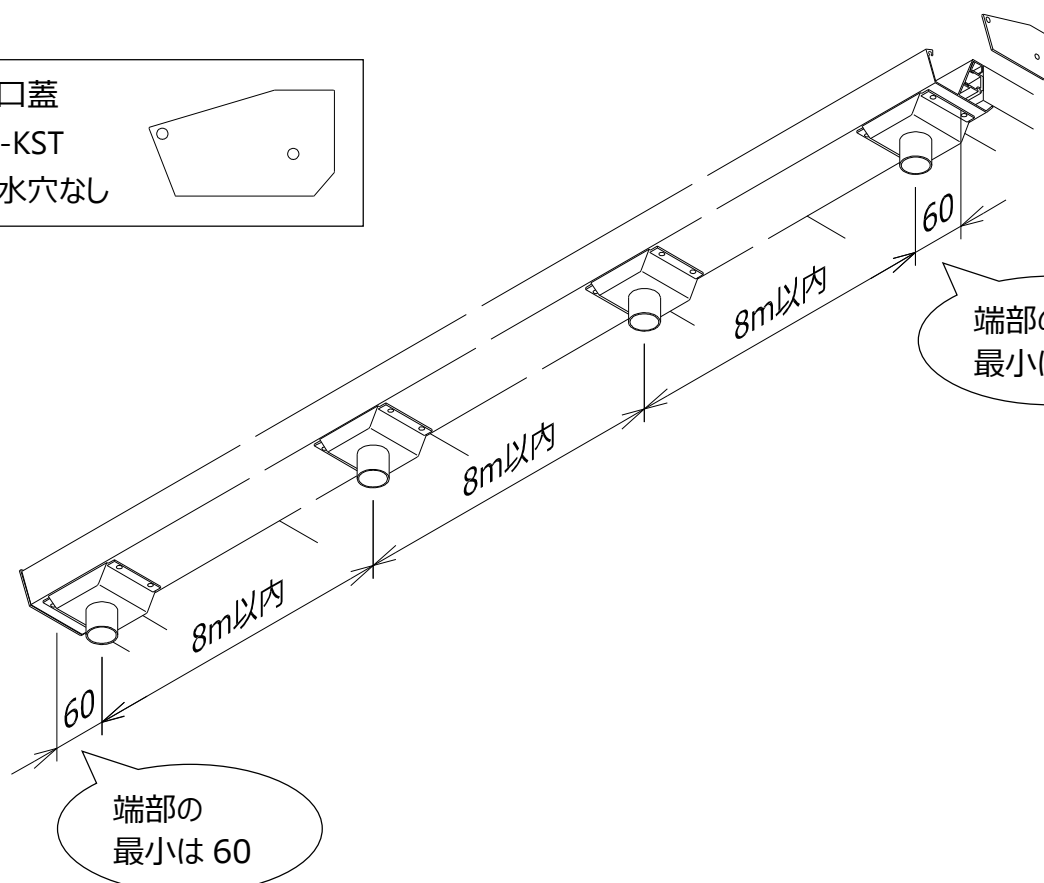
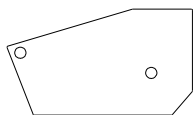
12. 集水桧・落し口を取付ける (先端樋つきオプション)

- ① 先端見切に集水桧を取付ける位置を決めます。

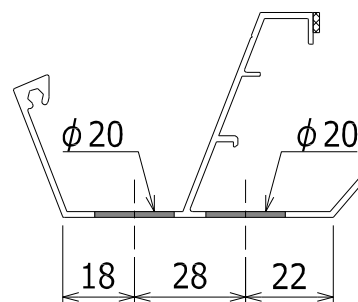
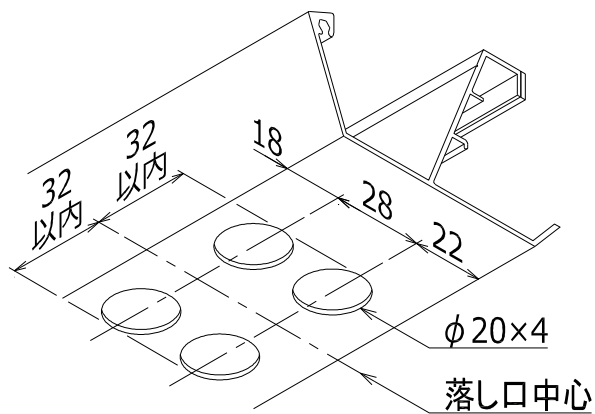
小口蓋
RS-KST
排水穴あり
幅 8 m 超え



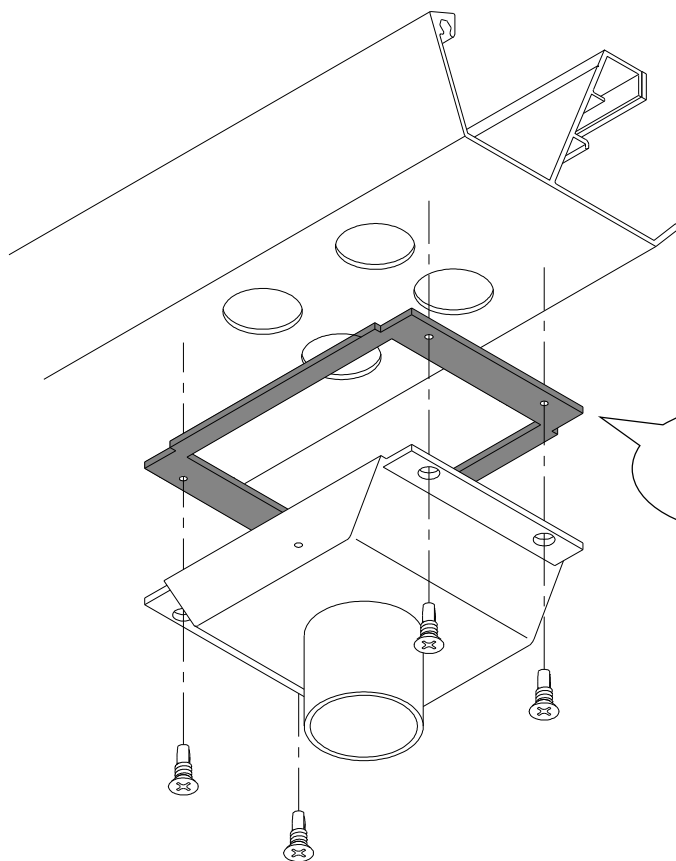
小口蓋
RS-KST
排水穴なし



② 集水桝取付位置にφ20の排水穴を4つあけます。



⑥ 集水桝を皿ドリルねじで取付けます。



⚠ 注意

排水穴の

- ・大きさが小さい
- ・数が少ない
- ・あけ忘れ

があると、
雨水がオーバーフロー
することがあります。

準備するもの

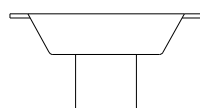
● 先端見切



● パッキン t=2



● 集水桝

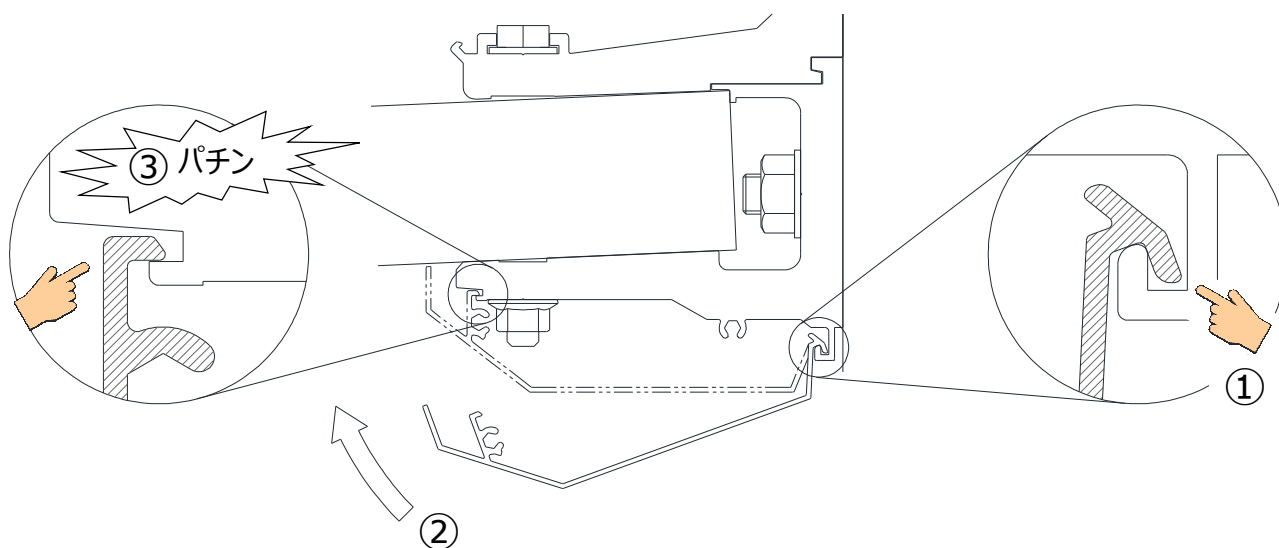
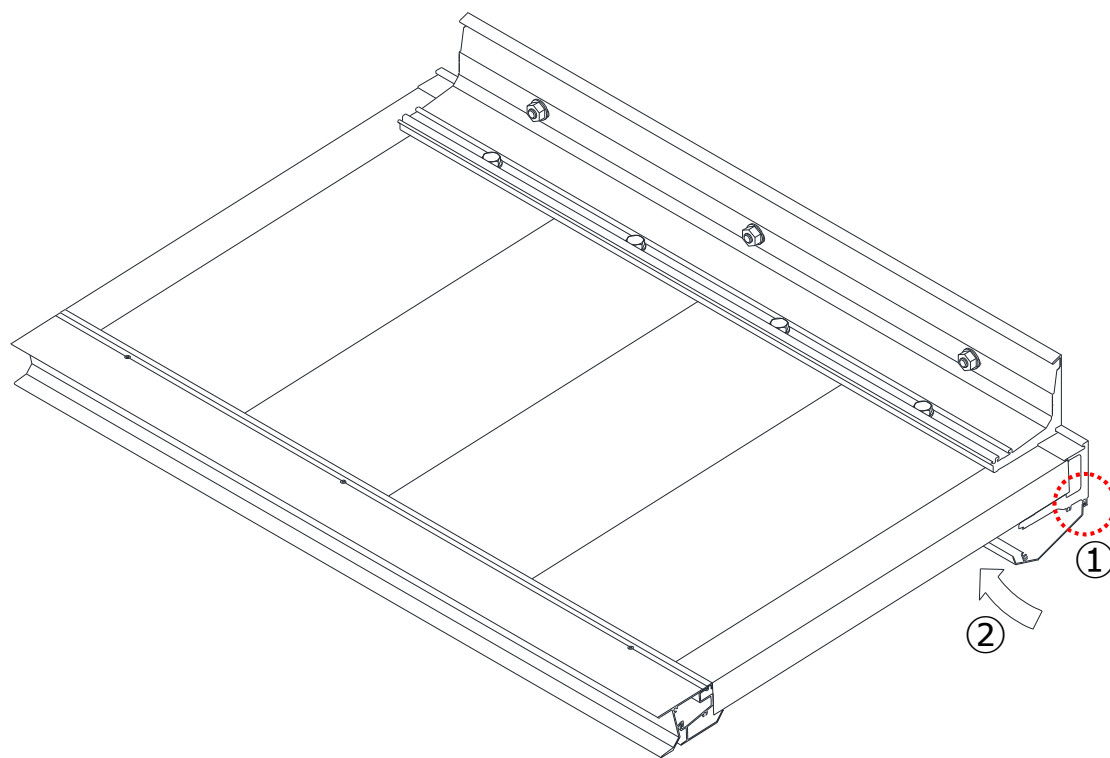


● 皿ドリルねじ 4×13



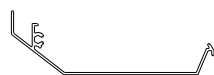
13. カバー材（小）を取付ける

- ① カバー材（小）を壁軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ パチンと音がするまで押し込んで取付けます。



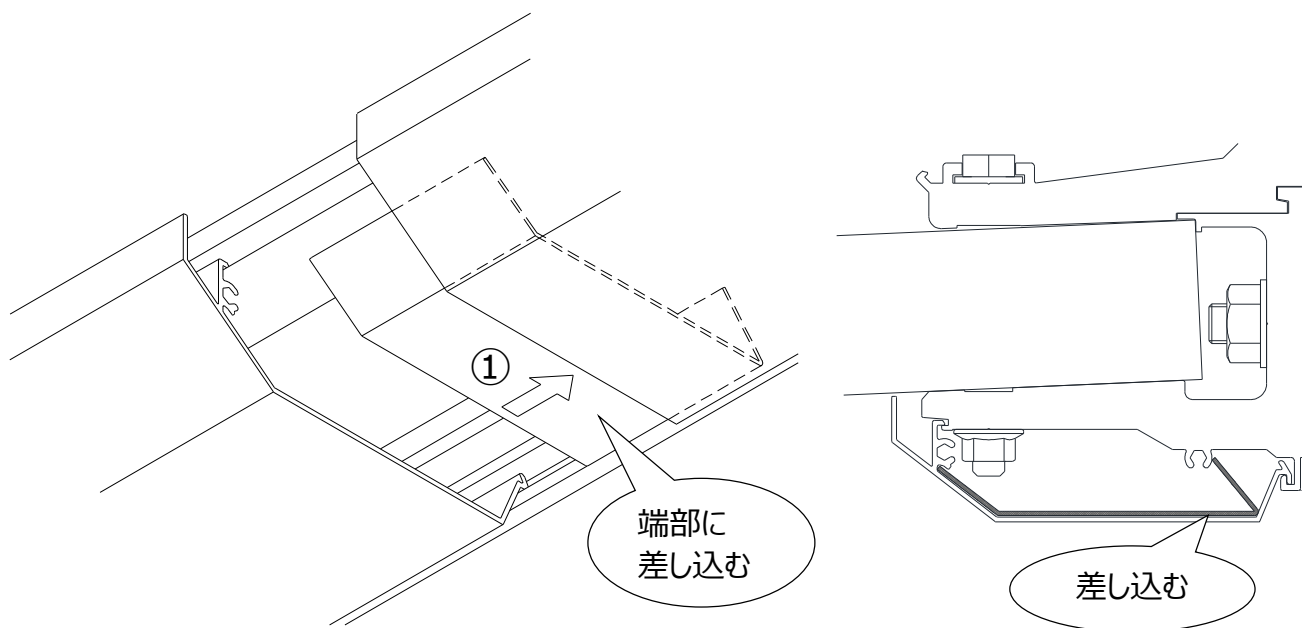
準備するもの

- カバー材（小）

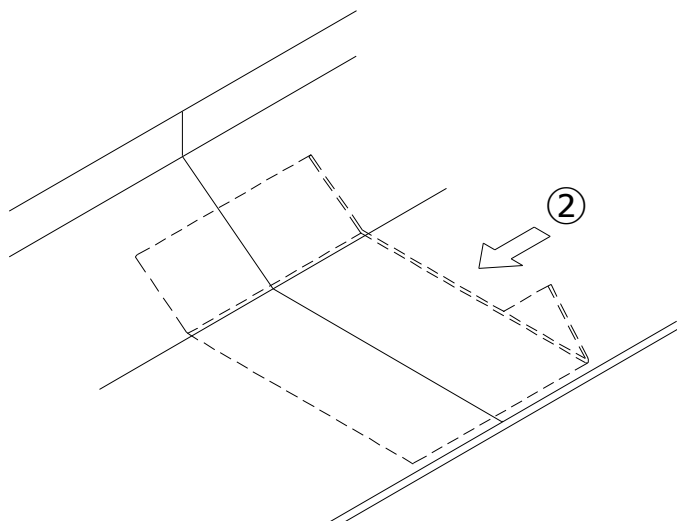


カバー材（小）を2本以上取付ける場合

① カバー材（小）の端部（両側）に固定材を差し込みます。



② カバー材（小）を突き合わせます。



準備するもの

● カバー材（小）

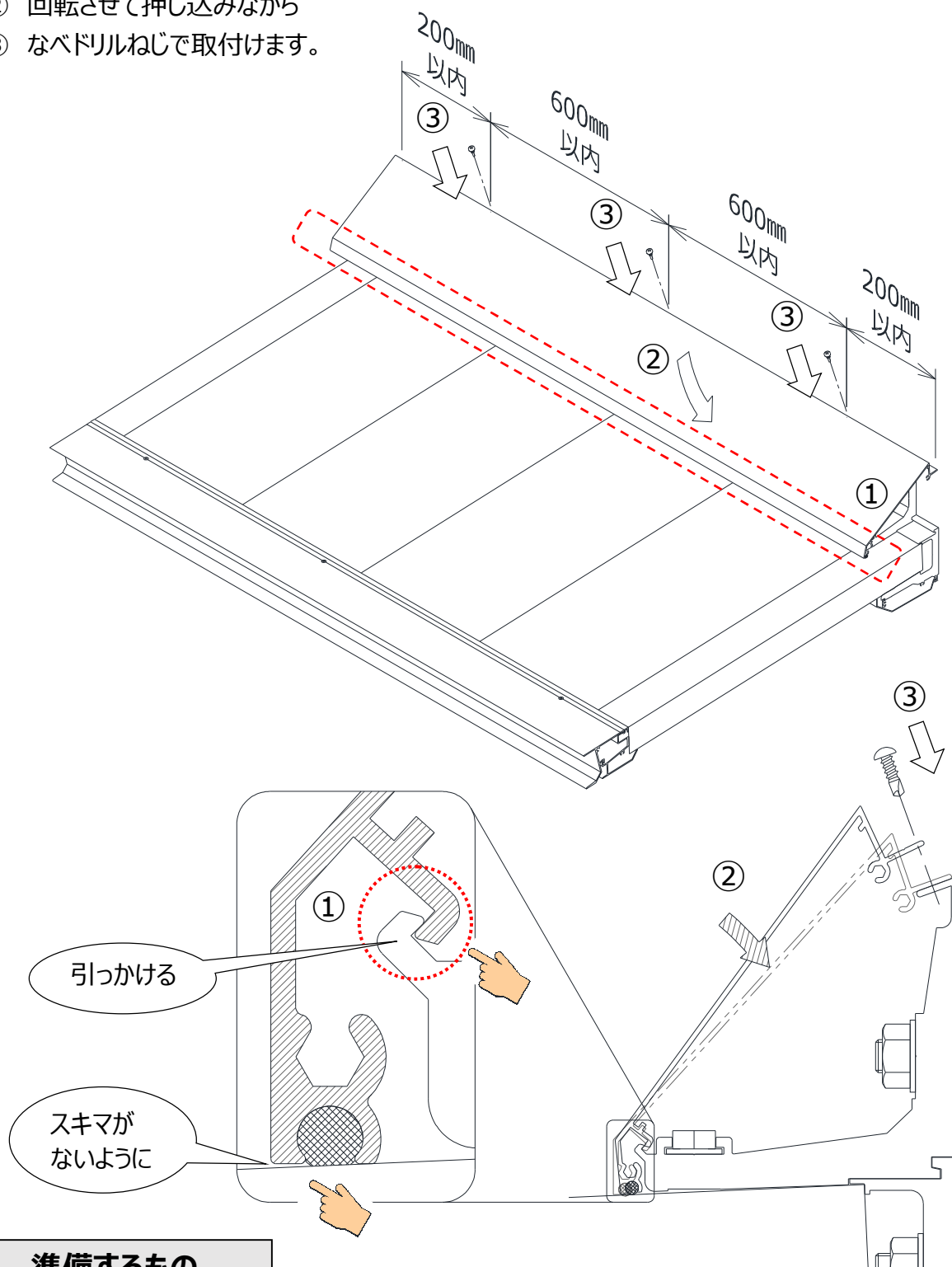


● カバー材（小）ジョイント材
L=50



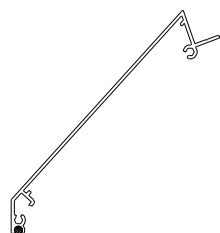
14. カバー材（大）を取付ける

- ① カバー材（大）をパネル軸材に引っかけて、
- ② 回転させて押し込みながら
- ③ なべドリルねじで取付けます。



準備するもの

- カバー材（大）

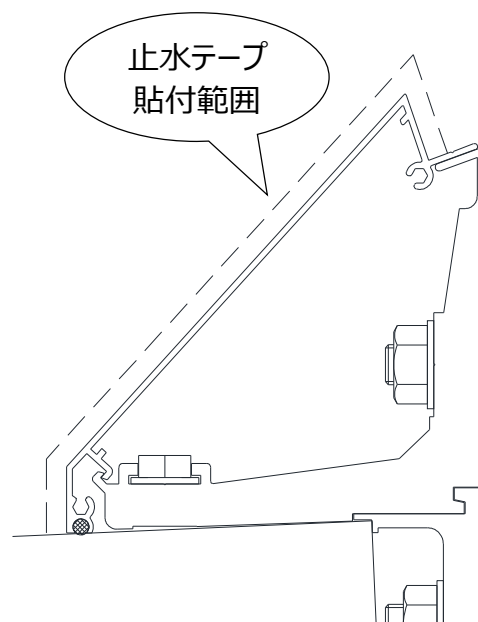
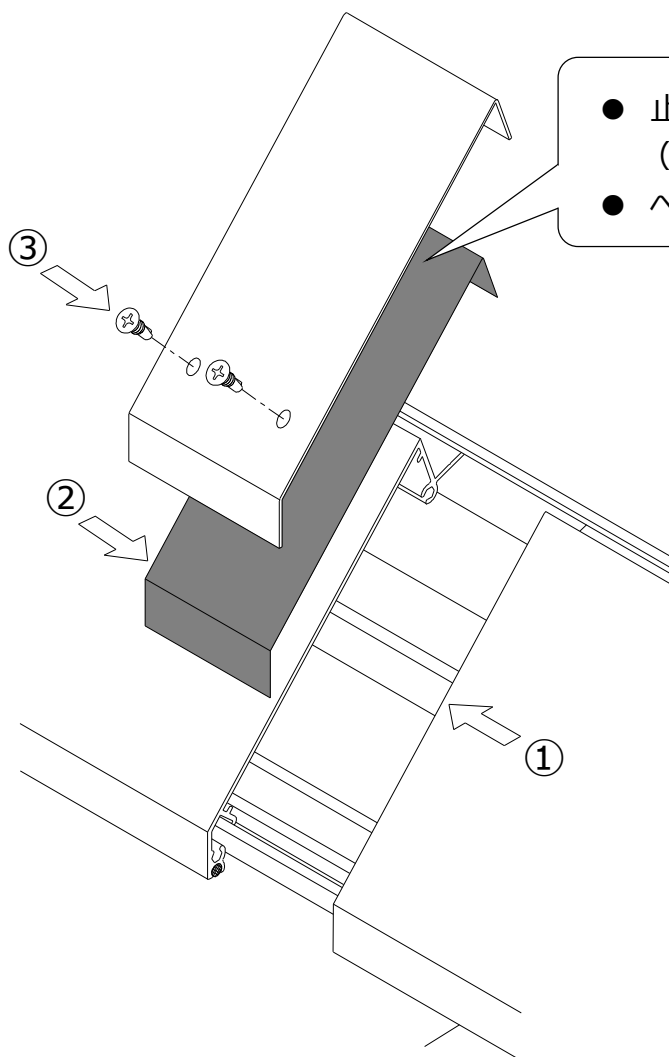


- なべドリルねじ 4×13



カバー材（大）を2本以上取付ける場合

- ① カバー材（大）を突き合わせ、
- ② 目地部に止水テープを圧着し、（※）ヘラ等を使用して、シワやスキマの無いように
- ③ カバー材を皿ドリルねじで取付けます。

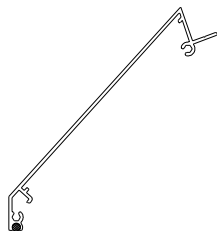


注意

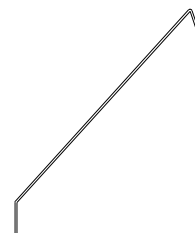
止水テープが確実に圧着できていないと、水漏れすることがあります。

準備するもの

- カバー材（大）



- ジョイント部カバー材
L=60



- 止水テープ W=50

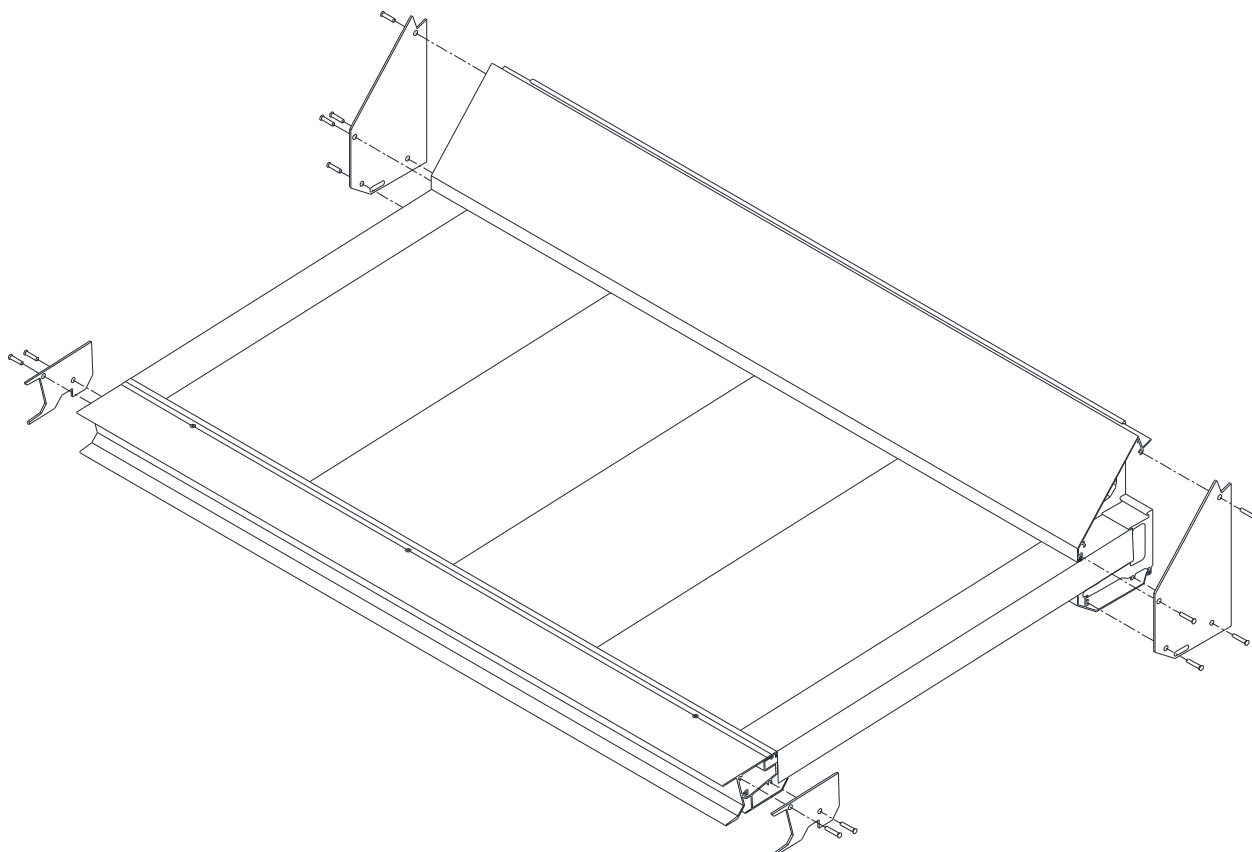


- 皿ドリルねじ 4×13



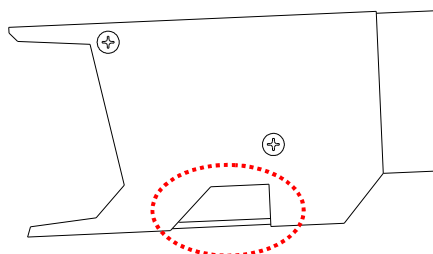
15. 小口蓋を取付ける

小口蓋を皿タッピンねじで取付けます。



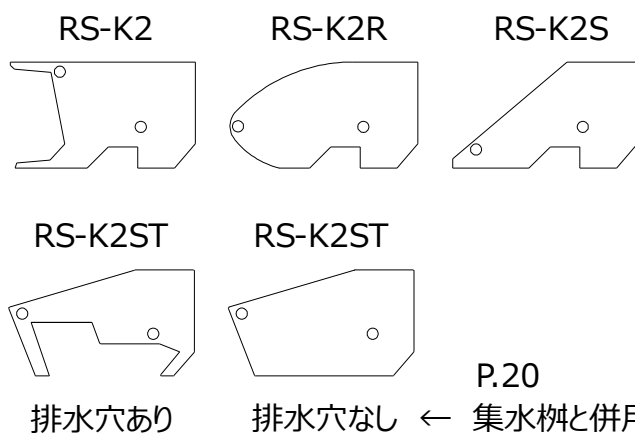
⚠ 注意

小口蓋の排水穴は
ふさがないでください。
ふさいでしまうと、
水漏れすることがあります。

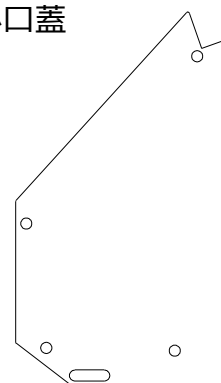


準備するもの

● 先端見切小口蓋



● 壁軸材小口蓋

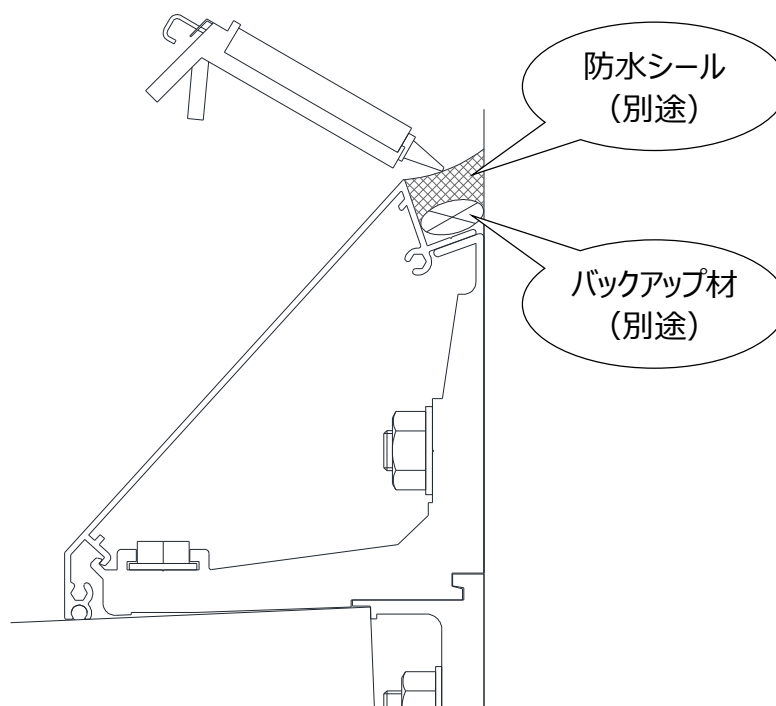
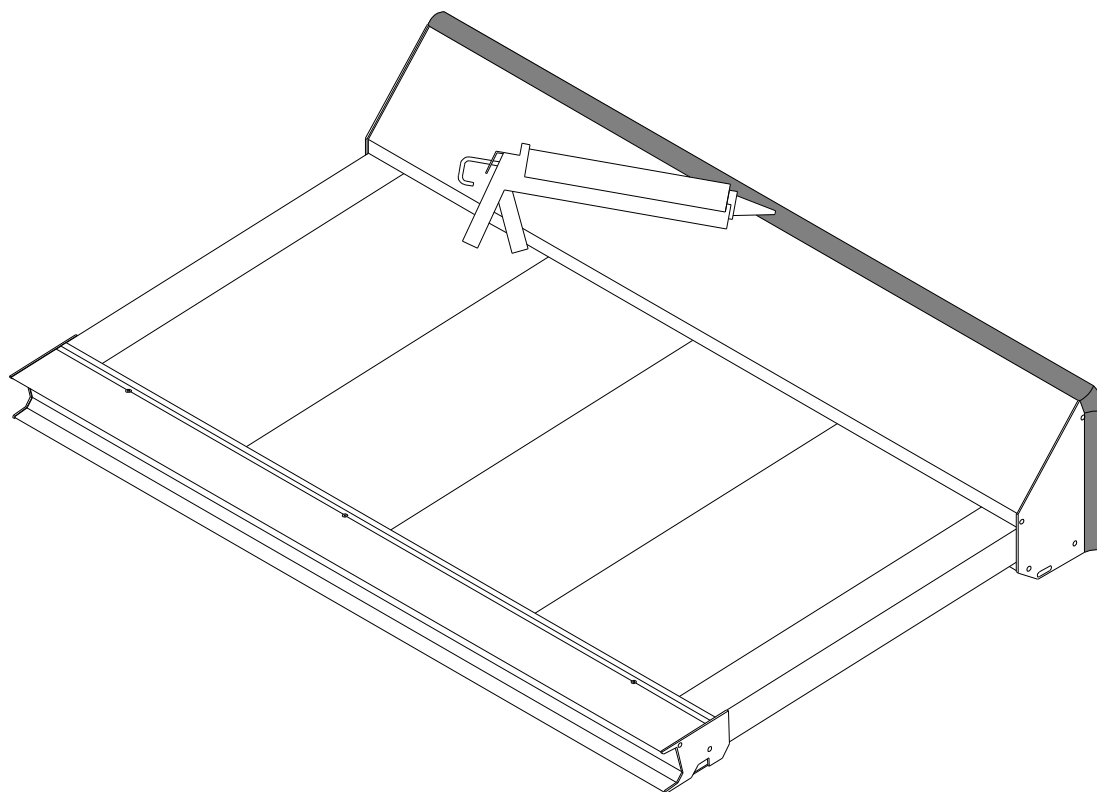


● 皿タッピンねじ 4×16



16. 防水シール工事（別途）

壁軸材の上部、端部に防水シールを施します。



準備するもの

- バックアップ（別途）
- 防水シール（別途）

⚠ 注意

- ☑ 照明器具に水をかけないでください。
- ☑ 入力電圧は100Vを守ってください。 ※スポットタイプは100～240V。
- ☑ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。
- ☑ 電気配線工事は必ず専門業者（有資格者）に依頼してください。
無資格者の電気工事は禁止されています。

接続図

スポットタイプ (サイズφ49)

LED 側電線

黒：AC100V(L)へ
白：AC100V(N)へ

配線用穴
別途

AC100Vと結線
※電気工事業者作業

電源コード
オプション

広角タイプ (サイズ W54×L300)

LED 側電線

黒：AC100V(L)へ
白：AC100V(N)へ
緑：アース

AC100Vと結線
※電気工事業者作業

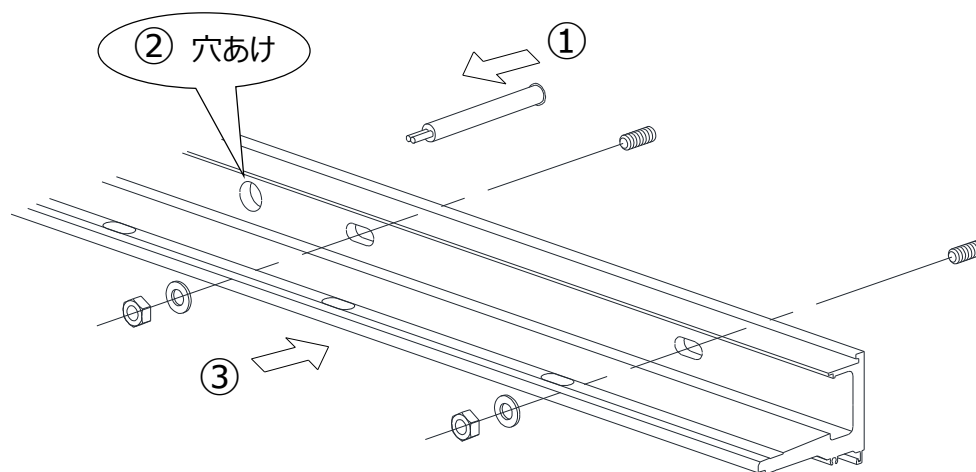
配線用穴
別途

LED 付中間材
(電源装置組込み)

電源コード 2m 付小口蓋
※スポットタイプオプション

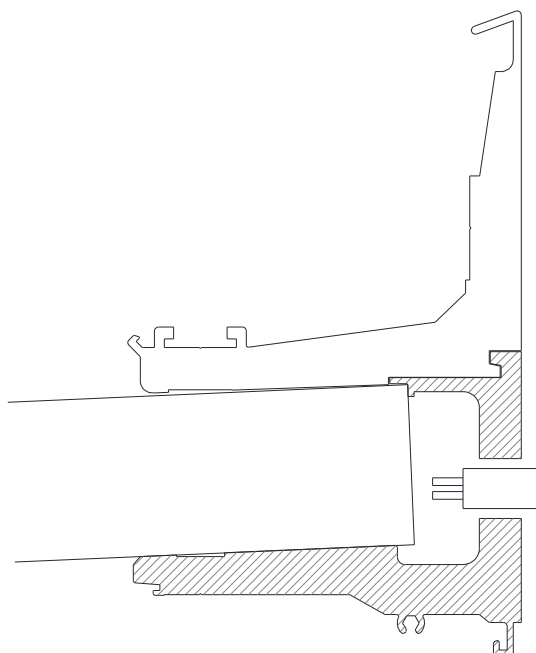
- ① 庇取付部の外壁から電線（AC100V）を出し（※）、
- ② 電線の位置に合わせて壁軸材に穴をあけて（※）、
- ③ P 4 の手順で壁軸材を取付けます。

（※）スポットタイプで電源コード付小口蓋を使用する場合は不要です。



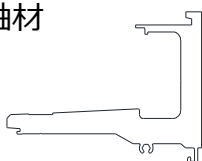
⚠ 注意

電線（AC100V）は
壁軸材側から出してください。



準備するもの

- 壁軸材

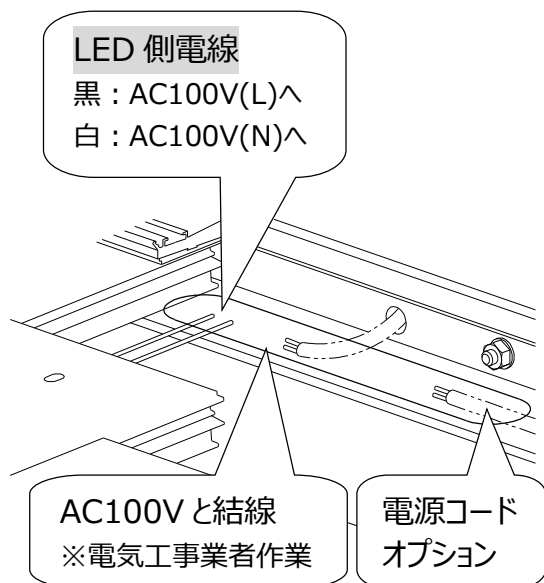


- 六角ナット M10（別途）
- 座金 M10（別途）
- 電線（別途）

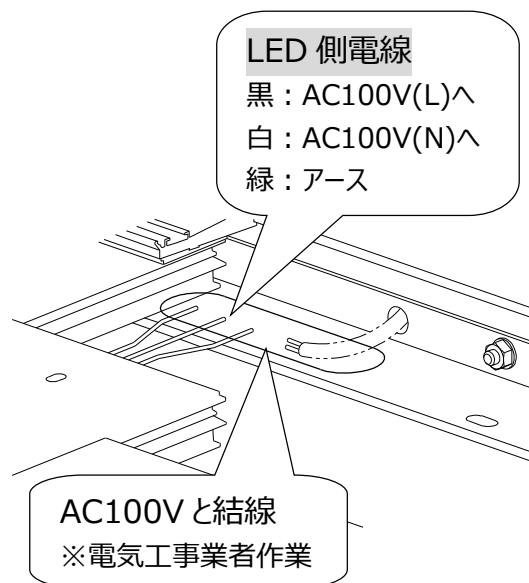
次ページへ続く⇒

④ L E D付中間材の電線と結線します。

スポットタイプ (サイズφ49)



広角タイプ (サイズ W54×L300)



注意

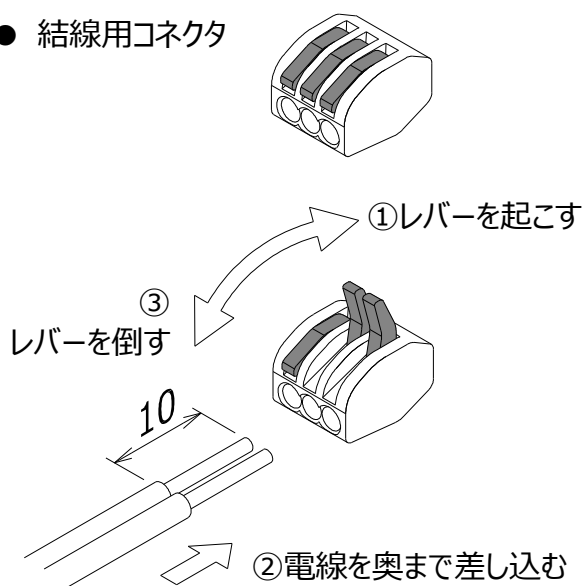
・コードをはさまないようにしてください。

重要

・LED 照明が点灯することを確認してください。
・点灯しない場合は、接続不良、断線を確認してください。

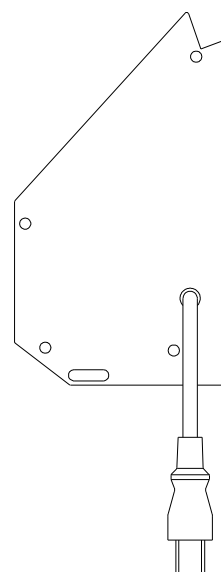
準備するもの

● 結線用コネクタ



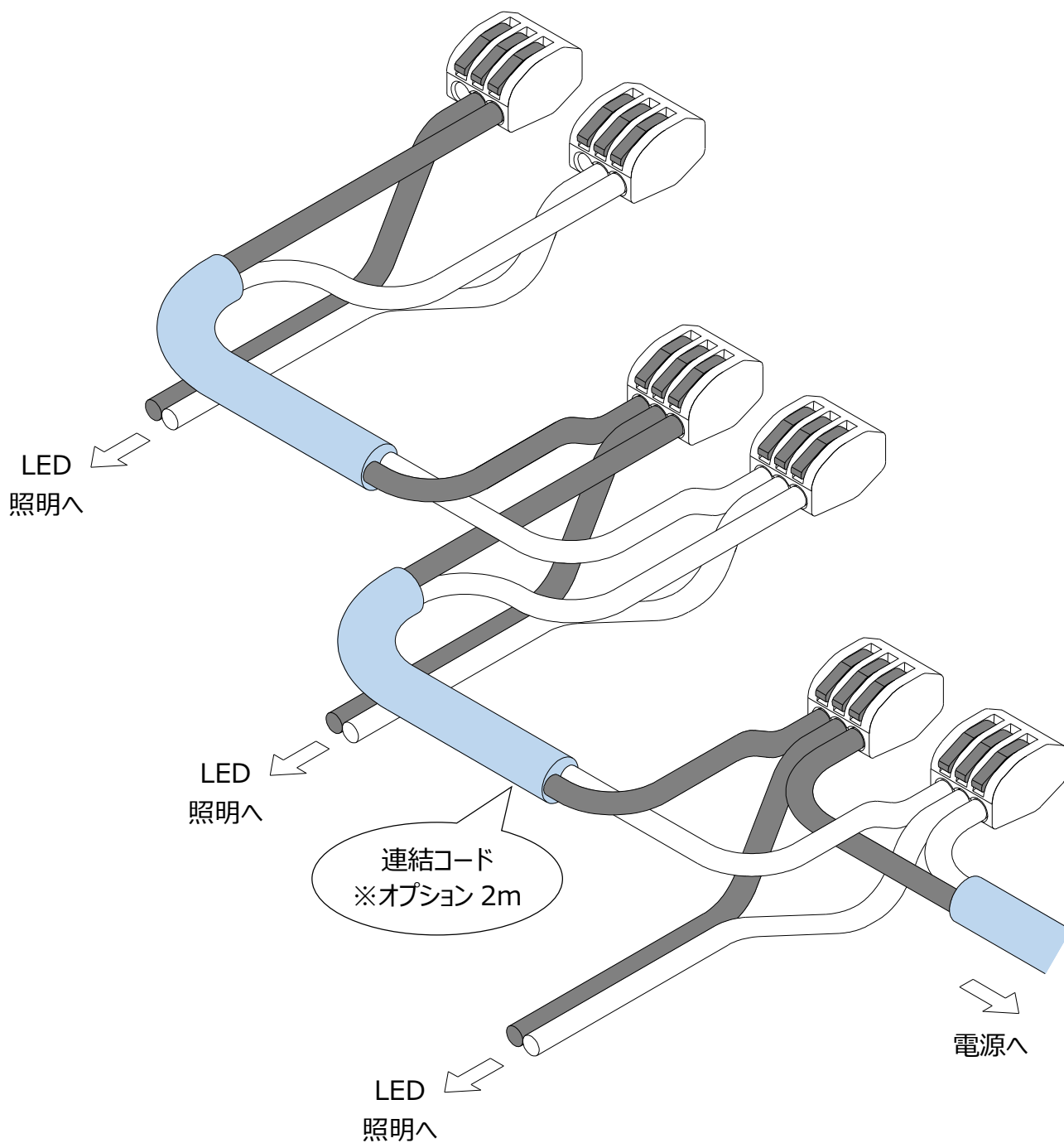
● 電源コード付
壁軸材小口蓋

※スポットタイプ
オプション



LED 照明を連結する場合

LED 照明を連結する場合は、下図のように接続します。



施工確認チェックシート

P.3 以降の施工手順中の重要なポイントをまとめていますので、ご確認ください。

項目	チェック		内容	ページ
壁軸材 ステーブラケット 取付ボルト			ボルト出しの長さは規定寸法ですか？ 【壁軸材】25mm 【ステーブラケット】出幅1500mm以下：15mm 出幅1500mm超え：20mm	P.3 ～ P.4
壁軸材			壁面の出入りは調整しましたか？	P.4
			取付ボルトは、規定数量通り確実に取付けしましたか？	
			水平の確認は出来ていますか？	
パネル軸材			凹凸部が壁軸材に合っていますか？	P.5
中間材			取付穴横の「T字」刻印が上面になっていますか？	P.6
			壁軸材の突起に当たっていますか？	
			【ステンカラーの場合】左から順番通り取付けましたか？	
			中間材と壁軸材が直角（90°）であることを確認しましたか？	P.9
			中間材の先端が揃っていますか？	
ステー			庇の先端のレベルは出ていますか？	P.11
先端見切 カバー材（大）			【2本以上取付ける場合】 止水テープは確実に圧着しましたか？	P.13 P.18 P.25
集水枥			排水穴は、規定通りあけましたか？	P.21
小口蓋			先端見切小口蓋の排水穴をふさいでいませんか？	P.26
防水シール			指示箇所は全て防水シールを施しましたか？	P.3、4、27
ねじ・ボルト類			規定箇所に正しく取付けされていますか？	全般